令和４年度
補助事業選考のための

＊市民活動げんき基金＊

公開ヒアリング
公開プレゼンテーション

日にち ： 令和4年3月19日(土)

時　間 ： 13時00分～17時15分

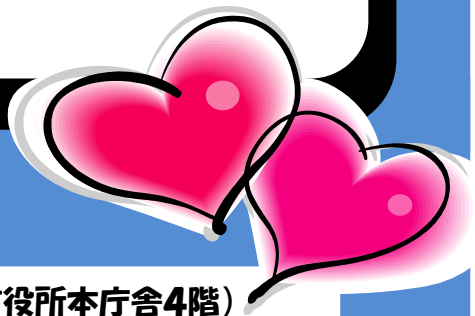
場　所 ： 市役所本庁舎4階　会議室3～5

※委員と団体はオンライン参加の可能性あり

※傍聴は会場でのみ可

進　行

１３：００	開会
１３：１０	スタート支援（１事業）　公開ヒアリング
１３：２７	ステップアップ支援（９事業）公開プレゼンテーション
１６：４５	総括質疑
１７：１５	閉会



お問い合わせ

茅ヶ崎市総務部市民自治推進課協働推進担当(市役所本庁舎4階)
0467－82－1111(代表)
E-mail:shiminjichi@city.chigasaki.kanagawa.jp

目　　次

進行予定表 ―― 1

発表方法及び選考方法 ―― 2

市民活動げんき基金の概要 ―― 4

市民活動げんき基金の対象となる事業と区分 ―― 5

市民活動げんき基金にご寄附いただいた方々 ―― 6

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿 ―― 7

◆◆スタート支援◆◆

① 多様性野菜活用の料理教室 ―― 10

◆◆ステップアップ支援◆◆

① ① 触診モデルを用いた乳がん啓発活動

② がんサバイバーのためのワークショップ ―― 18

② 夏休み子供向けSUP体験会 2022 ―― 26

③ ❶フリーペーパーの編集・発行

❷WEBサイトの更新と情報発信 ―― 34

④ 子どもを大切に育むための「子どもの権利」勉強会＆地域交流会 ―― 42

⑤ 鶴嶺中学の学習支援開始の感染防止対策とパワフル大作戦 ―― 50

⑥ いのちの教室（仮）in「わんにゃんマルシェ」 ―― 56

⑦ スローコミュニケーションプロジェクト ―― 68

⑧ 心の詰まりを取ろう 怒りを知る「アンガーマネジメント講座」 ―― 82

⑨ 赤ちゃんとママのためのコンサート～こどもから大人まで楽しめるコンサート～ ―― 94

進行予定表

13:00　開会　（委員長あいさつ、委員紹介、進行及び選考方法についての説明）　　単位：円

発表時間		事業名	団体名	総事業費	補助金申請額
◆スタート支援の部					
13:10	1	多様性野菜活用の料理教室	多様性野菜活用支援協会	280,000	100,000
◆ステップアップ支援の部					
13:27	1	① 触診モデルを用いた乳がん啓発活動 ② がんサバイバーのためのワークショップ	ガーゼ帽子を縫う会	350,900	280,000
13:47	2	夏休み子供向けSUP体験会 2022	特定非営利活動法人SUPU スタンドアップパドルユニオン	1,235,050	600,000
14:07	3	❶フリーペーパーの編集・発行 ❷WEBサイトの更新と情報発信	BENIRINGO	371,428	297,000
休憩（14:27～14:35）					
14:35	4	子どもを大切に育むための「子どもの権利」勉強会＆地域交流会	ふらっと南湖	373,240	298,000
14:55	5	鶴嶺中学の学習支援開始の感染防止対策とパワフル大作戦	特定非営利活動法人こども応援丸	154,245	123,000
15:15	6	いのちの教室（仮）in「わんにゃんマルシェ」	わんにゃんマルシェ実行委員会	488,170	303,000
休憩（15:35～15:45）					
15:45	7	スローコミュニケーションプロジェクト	一般社団法人4Hearts	800,649	600,000
16:05	8	心の詰まりを取ろう 怒りを知る「アンガーマネジメント講座」	マザーアース茅ヶ崎	250,981	190,000
16:25	9	赤ちゃんとママのためのコンサート ～こどもから大人まで楽しめるコンサート～	湘南Liebe	476,252	323,000
総括質疑（16:45～17:10）					

閉　会　　17:10～　（委員長あいさつ）

スタート支援　　総事業費：　280,000円　　補助金申請額：　100,000円
ステップアップ支援　　総事業費：4,500,915円　　補助金申請額：3,014,000円
合計　　総事業費：4,780,915円　　補助金申請額：3,114,000円

発表方法及び選考方法

発表方法

公開ヒアリングについて（スタート支援）

◆進行方法

①発表団体が、応募事業について説明を行います。（５分以内）
※持ち時間残り１分間及び終了の時点で、ベルが鳴ります。
※終了のベルが鳴った時点で、発表は終了です。途中でも終了してください。

②説明後、市民活動推進委員会委員より、事業内容に関するヒアリング（質疑応答）を行います。（１０分程度）

③全団体終了後に、総括質疑を行います。（予定）

◆説明方法

口頭（パソコン、模造紙などの使用も可）

公開プレゼンテーションについて（ステップアップ支援）

◆進行方法

①発表団体が、応募事業についてプレゼンテーションを行います。（８分以内）
※残り時間半分、残り１分間及び終了の時点で、ベルが鳴ります。
※終了のベルが鳴った時点で、発表は終了です。途中でも終了してください。

②発表後、市民活動推進委員会委員との質疑応答を行っていただきます。（１０分程度）

③全団体終了後に、総括質疑を行います。（予定）

◆発表方法

口頭、パソコン、模造紙など

選考の視点と配点について

①下表の各視点について、茅ヶ崎市市民活動推進委員会の各委員が評価します。
＜スタート支援＞　３０点満点

選考の視点	説明
１　公益性(１０点)	事業の成果は、市民の利益となるものであるか、 または市民の利益につながるものであるか。
２　発展性(１０点)	補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。
３　費用の妥当性(10 点)	対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。 事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。

＜ステップアップ支援＞　５０点満点

選考の視点	説明
１ 公益性(１０点)	**事業の成果は、市民の利益となるものであるか、 または市民の利益につながるものであるか。**
２ 発展性(１０点)	**補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。**
３ 費用の妥当性(５点)	**対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。 事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。**
４ 地域性(５点)	地域住民のニーズに合うものであるか。
５ 先駆性(５点)	これまでに無い(少ない)新しい取り組みであるか、 または新たな視点、発想から（再）提案されたものであるか。
６ 事業実現性(５点)	実施可能な方法、スケジュール、予算で事業計画が立案されているか。
７ 自立性(５点)	自己努力による資金確保に努めているか。
８ 継続性(５点)	補助による事業が終了した後も、継続的な展望を描くことが出来る活動か。

＊「公益性」「発展性」「費用の妥当性」はスタート支援・ステップアップ支援共通の項目です。

＊ステップアップ支援において、「公益性」「発展性」の項目は、配点が 10 点となっています。

②審査に加わらない委員を除いた委員全員の採点結果のうち、最上位と最下位の点数を省いた上で、平均点を算出し、順位付けをします。

③満点の６０％（スタート：18 点、ステップアップ：30 点）を補助事業に適する得点の目安とし、委員による協議に基づいて採否を判断します。

▶▶委員が審査する団体について

（茅ヶ崎市市民活動推進委員会規則　第７条）
〇委員本人、配偶者、３親等以内の親族が所属する団体
〇その他、直接の利害関係がある団体（委員による事前申告）

上記の団体については、公正性を高めるため、次のように扱います。

1	関係する団体の属する部門（スタート支援、ステップアップ支援）の採点を行わない。
2	公開プレゼンテーションでは、関係する団体への質問は行うことはできない。また、委員自身がプレゼンテーションを行うことはできない。
3	選考会議（非公開）では、関係する団体の審議時に退席する。

選考結果

⑴ 選考会議の審議結果（事業及び補助額の評価結果） は、市長に報告されます。

⑵ 審議結果の報告を受けて、市長が予算の範囲内で決定します。

⑶ 選考結果は、応募団体に採否の理由を付けて書面で通知します（４月上旬の予定）。また、茅ヶ崎市ホームページでも公表します。

市民活動げんき基金の概要

「今の活動をもっとたくさんの人に広げたい」
「みんなのための活動を新しく始めたい」
という思いをみんなで応援する仕組みです。

仕組み

寄附にご協力ください

げんき基金の積み立ては 1,500 万円からスタートしました。市民活動推進補助金として、毎年補助をしています。仮に、寄附が全くなかった場合には、いずれ基金はなくなってしまいます。
たくさんの寄附が集まれば、それだけ多くの補助ができ、市民活動がもっと“**げんき**”になります。

寄附の方法

○窓口　茅ヶ崎市役所市民自治推進課
（本庁舎４階１番窓口）
平日　8:30～17:15

○振込　手数料が無料になる振込用紙（納付書）をお送りします。
お近くの金融機関をご利用ください。

税の優遇措置が受けられます

市民活動げんき基金へご寄附いただくと、所得税及び法人税の確定申告（住民税の申告を含む）の際に寄附金控除の対象となります。

寄附の累計額
12,516,512 円
（令和３年 12 月 31 日現在）

市民活動げんき基金補助制度の対象となる事業と区分

<table>
<tr><th>種類</th><th>市民活動スタート支援</th><th>市民活動ステップアップ支援</th></tr>
<tr><td>対象団体</td><td>本制度による補助を
受けたことがない団体</td><td>市民活動スタート支援を
受けたことがある団体、
または設立後２年以上の団体</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対象事業</td><td colspan="2">茅ヶ崎市民が受益者となり得る公益的な事業
公益的な事業とは、「特定非営利活動促進法（ＮＰＯ法）に定める２０分野に該当する事業」及び「その他地域社会の課題の解決を図るために実施する事業」をいいます。構成員のみを対象とした共益的な事業は対象外となります。</td></tr>
<tr><td>団体の自立を促進し、活動を軌道にのせるための事業</td><td>団体がこれまで行ってきた活動の拡充を図る事業または活動の発展を目的に次の一歩として新たに行う事業</td></tr>
<tr><td>補助限度額</td><td>対象となる事業に要する経費から、補助金等を控除した額の９０％または１０万円のいずれか低いほうを上限。
事業内容を審査した上で、予算の範囲内で補助金額を決定します。
（例）総事業費が 30 万円の場合
30 万円×90%=27 万円
27 万円＞10 万円なので、補助限度額は 10 万円
（例）総事業費が８万円の場合
８万円×90%=7.2 万円
7.2 万円＜10 万円なので、補助限度額は 7.2 万円</td><td>対象となる事業に要する経費から、補助金等を控除した額の８０％または６０万円のいずれか低いほうを上限。
事業内容を審査した上で、予算の範囲内で補助金額を決定します。
（例）総事業費が 100 万円の場合
100 万円×80%=80 万円
80 万円＞60 万円なので、補助限度額は 60 万円
（例）総事業費が 70 万円の場合
70 万円×80%=56 万円
56 万円＜60 万円なので、補助限度額は 56 万円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">補助回数</td><td>同一団体１回限り</td><td>同一団体につき３回まで
＊継続して補助を受けようとする場合でも年度ごとに審査を受ける必要があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">構成員を同じくする団体からの事業の目的・内容が同一とみなされる提案は、同一団体からの提案とみなし、補助金の種類ごとの交付回数に含めます。</td></tr>
<tr><td>補助予算総額</td><td colspan="2">予算の範囲内で交付　【参考】令和３年度：３００万円</td></tr>
</table>

市民活動げんき基金にご寄附いただいた方々

（令和３年１月１日～令和３年１２月３１日）

寄附者（敬称略）	寄附年月日	寄附金額
（有）ハスキー企画	令和３年１月４日	1,800　円
特定非営利活動法人ＮＰＯサポートちがさき	令和３年１月５日	29,031　円
楽譜の読み方勉強会	令和３年４月１日	1,056　円
ダイドードリンコ株式会社	令和３年４月９日	1,996　円
湘南ヤクルト販売株式会社	令和３年４月21日	8,425　円
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和３年５月18日	25,028　円
令和２年度実施事業実施報告会設置募金箱	令和３年６月１日	470　円
錦織弘	令和３年６月30日	12,000　円
特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき	令和３年８月31日	5,477　円
特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき	令和３年９月10日	4,331　円
益永律子	令和３年９月27日	20,000　円
錦織弘	令和３年９月30日	50,000　円
ダイドードリンコ株式会社	令和３年10月７日	1,054　円
ふるさと納税	令和３年10月20日	40,000　円
歌声サロン「チーパッパ」	令和３年10月26日	1,524　円
くまじ株式会社　きもの研究会	令和３年10月27日	27,000　円
湘南ヤクルト販売株式会社	令和３年11月16日	12,769　円
歌声サロン「チーパッパ」	令和３年11月25日	2,026　円
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和３年12月１日	35,270　円
歌声サロン「チーパッパ」	令和３年12月24日	2,111　円
ふるさと納税	令和３年12月31日	30,000　円
	合計	311,368　円

市民活動げんき基金自動販売機設置協力企業様からの寄附

市民活動げんき基金自動販売機設置協力企業様から、対象となる自動販売機の売り上げの一部をご寄附いただいています。

寄附者（敬称略）	寄附対象自動販売機設置場所
湘南ヤクルト販売株式会社	茅ヶ崎市体育館
ダイドードリンコ株式会社	小和田公民館
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	浜須賀会館 海岸地区コミュニティセンター 小出地区コミュニティセンター コミュニティセンター湘南 茅ヶ崎地区コミュニティセンター 鶴嶺東コミュニティセンター 鶴嶺西コミュニティセンター 高砂コミュニティセンター

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

令和３年１１月１日現在

区分	委員名	所属
市　　民	大畑朋子（おおはたともこ）	公募
	町田有紀（まちだゆき）	
市民活動を行うものの代表者	坂田美保子（さかたみほこ）	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター
	市川歩（いちかわあゆみ）	特定非営利活動法人湘南スタイル
事業者の代表者	石田貴一（いしだきいち）	湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部
	森永信道（もりながのぶみち）	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
学識経験を有する者	貴島義夫（きじまよしお）	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会
	海野誠（うみのまこと）	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
	原田晃樹（はらだこうき）	立教大学コミュニティ福祉学部
	山田修嗣（やまだしゅうじ）	文教大学国際学部

申請に関する資料

スタート支援
申請書類

・市民活動推進補助事業企画書
・市民活動団体概要書
・事業計画書
・収支予算書
・物品購入理由書
・補足資料

発表時間	事業の名称	提案団体
①13:10	多様性野菜活用の料理教室	多様性野菜活用支援協会

第１号様式（第７条関係）

市民活動推進補助事業企画書

令和４年１月 13 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称 多様性野菜活用支援協会
代表者氏名　堀江　恒太

次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。

団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(2) 社会教育の推進を図る事業 (7) 環境の保全を図る事業
事業の名称	多様性野菜活用の料理教室
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和４年　　４月　　１日から　令和５年　３月　31 日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考　１　「事業の区分」欄には、第５条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

２　この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

第２号様式（第７条関係）

市民活動団体概要書

名称	多様性野菜活用支援協会
連絡先	
設立年月日	2022 年　1 月　11 日
構成員数	３ 人（うち役員　　2　人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者　　３　人 その他　　人
情報の公開の方法	□　ホームページへの掲載 ■　その他の方法（　市内の掲示板、体験学習センターの掲示板、まちぢから協議会掲示板）　　）
設立の経緯	全く背景の異なる２人が、廃棄野菜（多様性野菜）の活用を考えて、茅ヶ崎市民に食材の仕込み方法、調理方法を広めて、廃棄野菜の減少を推進しし、併せて、コロナウィルスの影響を受けて困窮している多様な人材に用も創出する。
活動の目的	多様性のある野菜の活用方法を伝授し、あわせて多様性のある人材の雇用を創出する取り組み。
主な活動内容	体験学習センター海風テラスで、調理教室を２時間で平日の午前に予定。（09:30-11:30）　参加人数は、３グループに分かれて、１グループ４名。 月に１回開催ペースで年間１２回を予定 廃棄野菜についての現状も資料を使って理解していただき、購入先なども紹介する予定。簡単なレシピ集を作り持ち帰りいただく。
年間決算額	円
補助金の状況	団体名： 補助金の交付を受けた年度： 補助金の名称：

備考　１　「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

２　「補助金の状況」欄は、過去５年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事業計画書

実施する事業について	規格外の野菜や果実を使って料理や保存食材をつくることを広く市民に知っていただき、廃棄野菜の減少と、合わせて健康な食生活を構築することを促進する。廃棄野菜をこれからは、多様性野菜と読み替えて、調理教室を開催し、廃棄野菜の減少を構築し、家庭で手軽に食材としてストックできるようにし、家計にも優しいことを目指す。 将来的には、多様性のある人材にこのプロジェクトに参加してもらい、雇用の創出も視野にいれて活動する 日時：　２０２２年４月の平日の午前　09:30-11:30 ２時間 （隔月：２か月に一回開催） 場所：　体験学習センターうみかぜテラス調理室 参加者：茅ケ崎市内在住または在勤の市民が対象 参加費：　１回の受講料　3000 円　（食材含む） 参加後に作られた食材は持ち帰りいただく。 個人でタッパーご持参いただく 講師：　堀江　恒太　（経歴は別紙参照） アシスタント　：　飯田　誠一　（経歴は別紙参照）
事業の背景について	発起人二人が、逗子の介護施設で偶然に出会ったことからスタートした。一人は、日本食の板前の経験を一流料亭で磨き、介護施設で提供する食事に活かしていた。もう一人は、豊洲市場に出向し、廃棄野菜が有料で産業廃棄物として捨てられている現状を知り、無駄に廃棄される食材が食べるものに困っている人や足りない場所に、供給する仕組みができないかと考えていた。二人の会話からこのプロジェクトを発想し、茅ヶ崎市で循環できる食材の仕組みを構築することを考え、このプロジェクトを考えた。
事業の目的や効果について	1.　多様性のある野菜をいかに、食材として家庭の食卓に乗るように仕込みができるかを参加者に知っていただき、その上で、廃棄野菜を減らしていく取り組み。地球温暖化を食い止める活動に貢献する。 2.　多様な人材の雇用を創出することを将来の目的として事業を拡充していくことも視野にいれる。 ３．多様性のある野菜を食材に加工し、この食材を足りない施設や人々に供給できる仕組みを構築し、このプロジェクトメンバーは、多

	様性に富んだ人材が運営することを目標にする。この取り組みが成功をみたら茅ケ崎市運営のモデルケースとして、ほかの自治体にも発信していきパッケージ化する。
事業の広報について	（使用予定の媒体にチェック） □チラシ・ポスター　□パンフレットなどの刊行物 □ホームページ　■Facebook　□Twitter　□その他のＳＮＳ（　　） ■市の広報紙　■市の広報掲示板　■口頭にて伝達 □その他（　　） まちぢから協議会の運営している掲示板 うみかぜテラスの掲示板
事業の実施体制について	料亭や都内５★ホテルの日本食の板場で修業した堀江が、参加者に多様性野菜の調理前に行う仕込みの仕方を伝授する。事前事務手続き全般、会場案内受付、円滑に料理教室が行われるように運営は、飯田が行う。いろんな方の参加が見込まれるので配慮ある対応もする。将来的には、ほかに多様性人材を広く公募してこのプロジェクトメンバーに参加いただき、仕込み方法を学び講師役になってもらえる体制を構築する。体験学習センターうみかぜテラスの調理室の再開を待って、２０２２年４月からスタートする。

備考　「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

第4号様式（第7条関係）

収支予算書

収入

科　　目	金　　額	内　　訳
1.事業収入	¥108,000	調理教室参加費　￥3000　x　6名　x　6回
2.補助金収入	¥100,000	市民活動げんき基金補助
合　　計	¥208,000	

支出

科　　目	金　　額	内　　訳
1-1事業人件費	¥0	スタッフがすべての役務を行う
1-2事業旅費	¥7,200	料理教室開催交通費補助　＠￥,400.－x3人x6回　（スタッフ2名及び講師）
(運搬費用を含む)	¥34,440	三浦野菜：野菜仕入れ業務交通費用補助　＠¥1090x 往復x 6回（三崎口） JR+京急+タクシー往復¥1780.x 2 x 6回
	¥3,960	鎌倉野菜：野菜仕入れ業務交通費用補助　＠¥330x 往復x 6回　JR（茅ヶ崎ー鎌倉）.
1-3物品費	¥48,000	食材仕入れ費用　＠￥8,000.- x 6回（2農家から仕入れ　＠￥4000.- x 2）
2. 印刷製本費	¥25,000	募集パンフレット（専門業者に版下作成依頼）
	¥25,000	食材の作り方の簡単なマニュアル作成(参加者に配布）専門業者と相談
	¥12,000	インク代（カートリッジ）　￥3000.-x2本x2回　（年間2回交換予定）
	¥4,800	紙代　¥800.- x 6
3. 使用料・賃借料	¥43,200	体験学習センターうみかぜテラス　調理室、備品レンタル　A団体　＠￥3600.x 12回(4時間）
4. 雑費（消耗品代）	¥4,400	事務用品代（ホチキスx1、ペンx10、ファイルx8冊）
合　　計	¥208,000	

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね１年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1　示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
　　また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2　内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

多様性野菜活用支援協会

２０２２年1月１１日

はじめに

- きっかけ

  経験の異なる２名が、介護施設で偶然に出会ったことからこの事業計画は始動した。欧州に関する旅行産業に３５年間従事してきた経験を持つ飯田と日本料理一流料理店で修行を積み、作ることに豊かな経験を持つ板前の堀江が、世の中のたに、二人の人生で培ってきた経験を活かして、社会還元できないかを考えた。その結果として、飯田は、介護施設で提供されている食事にスポットライトを当てて、プロジェクトを考え構築することを目指した。

- 社会課題

  混沌としたコロナウィルス蔓延の状況は先が見えない。この状況が地球規模の問題に直面していると警鐘を鳴らしている学者もいる。①地球規模で環境破壊　　が進んでいること。②コロナウィルス蔓延の影響で職を失った人やほかの理由で　　生活弱者になった人が、世界各地で生活困窮をしている。

- 社会課題の解決
  - 我々の活動は、規格外野菜が産業廃棄物として、有料で破棄される現実を飯田が豊洲市場に出向したことから知り、規格外野菜（＝多様性野菜）を廃棄せずに食材に変化させて、二人の知見と経験から、ゴミの削減と食料確保をする仕組みを構築する。無駄をなくし、持続可能な食料確保システムをこれからも考える。
  - 様々な環境変化により、生活困難になった人たちのために、働く場所を活動を通して確保し、提供できないかも視野にいれて活動する。

1. 目的　：なんのために行うか
   1　廃棄野菜（規格外の野菜）を廃棄せずに食材として活かすことができることを広めていくための活動。
   2　さまざまな理由から生活困窮した人（＝多様性の人材）を助けるための事業としてこの活動を確立し、必要な仕事を多様な人材に提供する。
      1. 料理教室の企画、募集、運営活動
      2. 多様性野菜による仕込みを行い食材にする。調理方法を提供する仕事
   3　茅ヶ崎市を中心に存在する社会課題を解決する一助とする。
      1. 空き家問題：空き家を改装して、６０歳以上の高齢者や孤立による生活に潤いのない人たちに提供し憩いの場とする。
      2. 空き家で、料理を提供し居場所づくりと多様性人材の雇用を創出する。

2. 設立時期　2022 年 1 月 11 日

3. 準備期間　2022 年 2 月 1 日から

4. 事業

1　料理教室（多様性野菜の活用）
2　多様性人材の雇用の創出（再チャレンジできる場所の創出）
3　SNS で発信しながら、全国に多様性野菜の活用の重要性を広く告知

5. 準備段階での業務と定期活動

1　料理教室の内容と回数、参加費用などを検討
2　会場確保：うみかぜテラスを第一候補とする。2022 年 4 月利用再開予定）
3　約款規約策定、参加メンバーのリスト
4　事業計画、および予算書策定
5　自治推進課への登録

＜4 月以降の活動指針＞

6　特定非営利団体活動法人として申請登録は将来の目標
7　スタート時は、３名から、目標は、代表１名と複数の理事で構成される。
8　年一回の総会と年２回の定例会を開催し事業の見直しを行う。

6. 組織運営

1　事務局本部は、代表者宅に置く。
2　年２回のズーム開催の定例会と年１回のリアル開催の総会を行う。
3　事業年度は、４月１日から翌年３月３１日までとする。
4　事務的業務、会計決算業務は、事務局で執り行う。
5　SNS を活用して、団体を外へ広めていく。Facebook に、登録し発信

7. 事業協力者

1　三浦野菜　ー大塚農園（明奈さん）
2　鎌倉野菜　ー安斉農園
3　体験学習センター（うみかぜテラス）ーー予定ーー

8. 活動メンバー

添付資料参照
1. 会員名簿とプロフィール

申請に関する資料

ステップアップ支援
申請書類

・市民活動推進補助事業企画書
・市民活動団体概要書
・事業計画書
・収支予算書
・物品購入理由書
・補足資料

発表時間	事業の名称	提案団体
①13:27	① 触診モデルを用いた乳がん啓発活動 ② がんサバイバーのためのワークショップ	ガーゼ帽子を縫う会
②13:47	夏休み子供向けSUP体験会 2022	特定非営利活動法人SUPU スタンドアップパドルユニオン
③14:07	❶フリーペーパーの編集・発行 ❷WEBサイトの更新と情報発信	BENIRINGO
④14:35	子どもを大切に育むための「子どもの権利」 勉強会＆地域交流会	ふらっと南湖
⑤14:55	鶴嶺中学の学習支援開始の感染防止対策 とパワフル大作戦	特定非営利活動法人こども応援丸
⑥15:15	いのちの教室（仮）in「わんにゃんマルシェ」	わんにゃんマルシェ実行委員会
⑦15:45	スローコミュニケーションプロジェクト	一般社団法人4Hearts
⑧16:05	心の詰まりを取ろう 怒りを知る「アンガーマネジメント講座」	マザーアース茅ヶ崎
⑨16:25	赤ちゃんとママのためのコンサート ～こどもから大人まで楽しめるコンサート～	湘南Liebe

第１号様式（第７条関係）

市民活動推進補助事業企画書

令和4年1月10日

茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称　　ガーゼ帽子を縫う会
代表者氏名　　吉田久美

次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。

団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(1)　保健・医療　又は福祉の増進を図る事業
事業の名称	①　触診モデルを用いた乳がん啓発活動 ②　がんサバイバーのためのワークショップ
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和4年4月1日から　　令和5年3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考　１　「事業の区分」欄には、第５条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

２　この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

第２号様式（第７条関係）

市民活動団体概要書

名称	ガーゼ帽子を縫う会
連絡先	
設立年月日	2010年5月9日
構成員数	5人（うち役員　2　人） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者　4　人 その他　1　人
情報の公開の方法	✓　ホームページへの掲載　URL　https://www.gaze-boushi.com ✓　その他の方法（　facebook・　茅ヶ崎サポートセンターの団体登録　） チラシ配布
設立の経緯	自身の乳がん体験で漠然とした不安を抱えながら治療をした経緯から、思いの吐露をできる場所コミュニティの必要性や検診の大切さを感じた。 今後湘南地域（藤沢・茅ヶ崎・平塚）にがんサバイバーがいつでも訪れ、心の荷物を下ろせる環境を作りたい。
活動の目的	●　がんサバイバーのコミュニティ作り （罹患後の孤独感をなくす・治療生活に役立つ正しい情報交換） ●　乳がんの検診率向上
主な活動内容	●　乳がん触診モデルを用いた「しこり」体験と自己触診方法を伝える。 ●　抗がん剤治療の副作用時にかぶるガーゼ帽子作りとコミュニティ作り （対象者：がんサバイバー）
年間予算額	300000　円
補助金の状況	団体名：茅ヶ崎市 補助金の交付を受けた年度：2019年度 補助金の名称：茅ケ崎市市民活動推進補助金

備考　「補助金の状況」欄は、過去５年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事 業 計 画 書

実施する事業について	① 秋の里山公園まつり　（１０月）・茅ケ崎マルシェ・フライベントなど各種イベントで乳がん触診モデルを用いて「しこり」の体験とセルフチェック方法のレクチャー、乳がん啓発 イベントの開催や参加場所については新型コロナウイルスの状況にもよりますが、今年度内で6回を目指します。 （里山公園での持ち込みイベント等） 場所：県立茅ケ崎里山公園、茅ケ崎市民文化会館、BRUNCH 茅ケ崎２など 対象：一般市民 ② レンタルスペースを利用して、治療中の生活に必要な１）ガーゼ帽子作成、２）がん治療による外見の変化のためのメイクセミナー、３）心と身体に向き合うための体操（ヨガ又は体操)、 ４）心を整えるためのカラーセラピーなど治療中でも無理なくでき、コミュニティ作りをしながらがんになっても「ひとりじゃない」ことや、ものづくりを楽しみながら病気のことを忘れるひと時を持つためのワークショップを時間を区切って自身の興味のあるワークに参加することで自分らしさを取り戻すきっかけ作りをします。 各会場をスマートフォンで動画を撮影して Youtube 配信をし、レポーターが現地の雰囲気を伝えることで治療中で外出が難しい方や、遠方で来訪できない方も同じ空気感を味わえるようにする。 また会場へは車いすの方でも参加できるように送迎をできる準備をします。 新型コロナ感染対策として事前予約制とし、定期的な換気をします。現地参加者は 2 週間前からの体調・体温チェックをしていただき、当日はお名前とご連絡先の記載と共に提出していただきます。参加時の適宜手指消毒とマスクの着用をお願いします。 講師側はマスクおよびフェイスシールドを着用します。 日程：9月　午前～午後　各ワークショップ　1～2 時間程度 場所：茅ヶ崎市内　「ホリデービレッジ」等

	http://holiday-village732.com/ 対象：がんサバイバー（各回 10 名）
事業の背景 について	① 湘南地域の乳がん検診率が低く、（平成 27 年度　茅ヶ崎 14.3%、藤沢 20.1%、平塚 10.9%）検診クーポンや案内を該当者へ送付していてもその効果があまり見られないこと。 新型コロナウイルス感染拡大の影響でさらに受診者が減り、今後は進行したがんが見つかるケースが増えて、患者の予後の悪化や死亡率の増加が懸念されている。 実際に触診モデルに触れて「しこり」体験をしてもらうことでがんを知るきっかけ作りとなり、興味をもってもらうことができた。その後検診やセルフチェックを通して実際に乳がんが見つかることもある。 ② 日常生活の中である日突然がんになり、今後の生活のイメージがつかめず、孤独を感じる人が少なくないと感じる。 しかしどう情報収集したらいいいか、どうがんサバイバー（がんと向き合っている人）同士が繋がってコミュニケーションをとればいいか分からずに家に篭りがちになるがんサバイバーが様々なワークショップを通してコミュニティ作りと生活の工夫、「ひとりじゃない」ことを感じることができるための事業を企画した。
事業の目的や効果 について	① 1）自身の身体に関心をもち、検診を受けるきっかけを作る。 2）乳がんの早期発見・早期治療による医療費削減。 3）おまつりやマルシェだからこそファミリーで訪れ、触診モデルを触ることへのハードルが下がる。 4）家族にも、しこりを知ってもらうことで乳がんを見つけてもらえるかもしれない。 5）啓発講演に行く人はもともと健康に対する意識が高い人。しかしお祭りやマルシェの中で開催することで、そうでない人もふらっと立ち寄って体験ができることができる。 ② ２人に１人ががんになる時代にがんになっても孤独にならず、必要な情報収集や身体を動かすことでリフレッシュでき、不安な気持ちを吐露する場所ができることで自分らしく過ごせる時間を通

	し、がんと共存しながら生きていかれるような環境作りができる。がんサバイバーが前を向く事で、がんサバイバーだけでなくサバイバーを支える家族や友人も安心でき、解放される時間が持てる。また、講師もほとんどがんサバイバーなので誰かの役に立てることで自身の役割や生きがいを見出せ、講師、参加者共に互いを支えあうことができる。
事業の広報 について	（使用予定の媒体にチェック） ✓□チラシ・ポスター　✓□パンフレットなどの刊行物 ✓□ホームページ　✓□Facebook　□Twitter　□その他のＳＮＳ（　） ✓□市の広報紙　✓□市の広報掲示板　✓□口頭にて伝達 ✓□その他（①②病院や患者会など 20 カ所程度にレターパック等でチラシを送付） ①ブースに来ていただいた方にこのような活動があることを知ってもらい、もしもがんになっても支えてくれる存在があることを記憶にとどめておいてもらうため、団体活動 PR のパンフレットを作成する。
事業の実施体制 について	総括　代表者１名 受付・会計　１名 広報（チラシ・パンフレット・はがき作成、配架・発送）　２名 事業協力： メイクセミナー1 名　カラーセラピー1 名 ヨガインストラクター1 名　ガーゼ帽子補助　１名　講演講師１名 動画撮影１名　補助スタッフ１名　車いす送迎１名

備考　「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

第４号様式（第７条関係）

収支予算書

収入

科　　目	金　　額	内　　訳
団体負担金	50900	団体収入より
補助金収入	280000	げんき基金より
参加費	20000	1 つのワークショップにつき 500 円×10 名×4
合計	350900	

支出

科　　目	金　　額	内　　訳
1. 謝金	105000	②講師料　　@15000×4 名 講演料　　@15000×1 名 補助スタッフ@10000×2 名 介護者送迎スタッフ @10000×1 名
2. 物品費	118500	②セルフチェックシート・アンケート用紙等　コピー用紙 1000 円 ①②インク 5 色@1000×5 5000 円 ①②アルコール消毒類・マスク・フェイスシールド・手袋等 20000 円 ①②非接触型体温計@6000×2 12000 円

		①養生テープ 10 巻　　1500 円 ②ガーゼ帽子材料費 @1000×10 人　10000 円 糸・針・チャコペン・50 ㎝定規 5 本糸切りハサミなど 5000 円 裁ちハサミ @8000×2 本 16000 円 ②カラーセラピー画材 5 セット @4000×5 セット 20000 円 台紙@1000×10 人 10000 円 ②メイク材料 @1500×10 人 15000 円 ①②文具一式（伝票類・領収証・筆記用具）　　3000 円
3.印刷製本費	45000	①②★団体PR三つ折りフライヤー5000 部　　20000 円 チラシ 500 部　　5000 円 フライヤー・チラシデザイン料　　20000 円
4. 通信運搬費	7400	①②レターパック@370×20 箇所 7400 円
5. 使用料	75000	①　啓発活動ブース代 @3000×５回 15000 円 @10000×１回　10000 円 ②　ホリデービレッジ使用料 40000 円 音響設備　10000 円
	350900	

ガーゼ帽子を縫う会活動風景

開催日　毎月第2（水）10時～16時

私は41歳の時に乳がんになりました。
その時、精神的にとても辛かったことの
ひとつが抗がん剤治療による脱毛でした。
治療で身体が辛いうえに脱毛のストレス
までも抱えていくことはとても辛く、
心が折れそうになりました。

　がんの治療のおける脱毛は患者さんに
とって想像以上の不安やストレスを伴います。
そのため気分が落ち込んだり、外出すること
や人に会う事をためらいがちになることも。

　このガーゼ帽子は、ボランティアの方の
「がんと向き合っている人の心と身体を少し
でも和らげるお手伝いがしたい」という思い、
そして治癒を願う気持ちや、仲間たちの
「ひとりじゃないよ」という思いを込めて、
柔らかく優しい風合いのガーゼ素材でひとつ
ひとつ手作りをしてがんサバイバーの心と
身体にそっと寄り添います。

　「がん」という病はひとりで頑張るよりも
支えて支えられて前に進むことができる病
だと感じています。

私も治療中はたくさんの人に支えてもらい、
そして今があります。

ひとりじゃない。応援しています。

CNJ認定　乳がん体験者コーディネーター
吉田 久美

ガーゼ帽子を縫う会

～つながる気持ち～

https://www.gaze-boushi.com

E-mail　gazeboushi2010@gmail.com

第１号様式（第７条関係）

市民活動推進補助事業企画書

令和３年１月１３日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称　特定非営利活動法人ＳＵＰＵスタンドアップパドルユニオン
代表者氏名　細井　隆

次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。

団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(4)観光の振興を図る活動 (6)学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 (13)子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	夏休み子供向けSUP体験会　2022
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考　１　「事業の区分」欄には、第５条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
　　２　この企画書には、次の書類を添付してください。
　　(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
　　(2) 構成員の名簿
　　(3) その他市長が必要と認める書類

第２号様式（第７条関係）

市民活動団体概要書

名称	特定非営利活動法人SUPUスタンドアップパドルユニオン
連絡先	
設立年月日	２００９年 ８月 ２４日
構成員数	１５人（うち役員１０人） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者　１１人 その他　４ 人
情報の公開の方法	☑ ホームページへの掲載 ☑ その他の方法 （SUPU会員へのメールおよびFacebook、InstagramなどのSNS媒体）
設立の経緯	Stand Up Paddle（以下SUP）が日本国内においても急速に普及する中、多くの方がさまざまなゲレンデでSUPを楽しみ、その魅力に魅了されています。SUPは、他のウォータースポーツに比べて比較的簡単に体験することが可能であり、また今までにない視線でウォータースポーツを感じることができます。そんな魅力あふれるスポーツであるSUPですが、急速な普及に伴い、さまざまな問題が生じているもの事実です。そのような中、我々スタンドアップパドルユニオン（以下SUPU）は、生涯スポーツやレジャーとしてのSUPの正しい普及と安全対策の啓発、競技スポーツとしての競技力の向上と裾野の広がりを目的に、SUPの盛んな茅ケ崎で各種SUPによる活動を展開していくために設立しました。
活動の目的	SUP競技の普及、啓発を図り、あわせてSUPを通じて海への関心を高め、青少年の心身の発達、安全意識の向上、地元産業、及び地元団体への理解、環境保全意識の向上を図り、地域貢献、社会貢献、国際貢献することを目的とします。
主な活動内容	・SUPの普及、国際試合の主催･運営、国際基準の選手の育成 SUP JAPAN CUP 茅ケ崎の開催。他地域のSUP競技大会への協力。 ・ジュニア、ユース世代の育成及びウォーターアウトドアスポーツの拡充 茅ケ崎海岸でのSUP体験会、サーフィン体験会等 ・茅ケ崎地域のSUPの安全及びマナーの構築 ・茅ケ崎地域でのSUPフィッシング大会及びイベントの主催、運営

年間決算額	961,584円
補助金の状況	団体名：茅ヶ崎市 補助金の交付を受けた年度：令和３年度 補助金の名称：茅ヶ崎市げんき基金 補助金対象の活動：夏休みこどもSUP体験会 団体名：独立行政法人日本スポーツ振興センター 補助金の交付を受けた年度：令和２年度、令和３年度 補助金の名称：スポーツ振興くじ助成金 補助金対象の活動：SUP JAPAN CUP in Chigasaki

備考　１　「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

２　「補助金の状況」欄は、過去５年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

第３号様式（第７条関係）

事 業 計 画 書

実施する事業について	『夏休み子供向け SUP 体験会 2022』 ⇒⇒　小中学生を対象にして SUP 体験会 日程：７月１７日(日)以降の夏休み開始～８月夏休み終了までの期間における日曜日　計７回 ※次年度の夏休みの期間が確定した後に日程を決定するものとする。時間は９時～１２時までの３時間。 場所：茅ケ崎海岸 対象：市内の小中学生（概ね小学校３年～中学校３年）各回２０名まで。※事前予約制 費用：１回５００円 SUP インストラクター団体(一般社団法人日本 SUP 指導者協会:SIJ)から講師を招き、海に関する事前講義、SUP 安全講義、SUP 操作講義を行い、海上で体験していただきます。 また、昨年度、指導するインストラクターがわかりづらいとの意見があり、また子供たちからも視認性の高いオレンジまたはブルーもしくはイエローのＴシャツを作成することと致しました。 **【新型コロナウイルス感染症対策】** 集合時には、マスク着用、アルコール消毒を徹底。自宅検温＋当日受付検温を実施。SUP 道具に関しても事前消毒を実施。体験会時には、講師１人につき最大３名の子供とし、ソーシャルディスタンスを取って講義を行います。原則屋外での講義、体験会で受講者の間隔を２ｍ以上確保します。
事業の背景について	コロナ禍の折、昨年から夏休みこども体験会を実施し、運動もなかなか出来ず、各種スポーツ大会、イベントも中止が相次ぎました。 昨年実施してみて、一番盛んに運動が出来る時期に力を持て余している子供たちも多いことを実感しました。 密になる機会が少ない海をフィールドに、サーフィンよりも簡単に出来る SUP を用いて気軽に、小中学生が楽しくスポーツが出来るよう、SUP 体験会を計画し、昨年実施時には、翌年も開催して欲しいとの要望が多かったこと、希望者多数でお断りしてしまったことから、夏休み期間中の回数を増やして開催することを計画しました。

第３号様式（第７条関係）

事業の目的や効果について	小中学生が SUP を通じて、健全なスポーツ、運動が出来ることと同時に海のルール、マナーを学ぶことで、海の安全啓蒙につながります。茅ケ崎の観光の一つである「海」を地元の子供たちが良く知り、海でのスポーツを継続していくことで、より魅力のある地域発展が期待できます。また、運動不足の子供たちが、SUP を体験して海の素晴らしさ、ルールを認識し、安全に海に出ることで健康的な市民生活が送れます。サーフィンだけではない茅ケ崎を市内外にアピールします。
事業の広報について	（使用予定の媒体にチェック） ■チラシ・ポスター　□パンフレットなどの刊行物 ■ホームページ　■Facebook　□Twitter　■その他のＳＮＳ（Instagram） ■市の広報紙　■市の広報掲示板　■口頭にて伝達 ■その他（国内 SUP 団体へ告知　） チラシ、ポスターは市の広報課、公民館等へ配布し、掲示を依頼します。また、市の広報紙にも掲載依頼を行います。 各所海のサーフショップなどにもお知らせし、市内小中学生が参加しやすい広報を展開して参ります。すでに作成している SUPU のホームページ、Facebook、Instagram から SUP 体験会の開催を広く周知致します。
事業の実施体制について	総括　１名（＋１名） 会計　１名 広報　２名～４名、その他数名 講師　８名　SUP インストラクター団体(一般社団法人日本 SUP 指導者協会:SIJ)　×　７回

備考　「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

第4号様式（第7条関係）

収支予算書

収入

科　　目	金　　額	内　　訳
1. 参加費収入	¥70,000	参加費 @500 × 20名 × 7回
2. 団体収入	¥565,050	SUPUで負担。一般SUPスクール等の運営資金から捻出。
3. 補助金収入	¥600,000	市民活動げんき基金補助
合　　計	¥1,235,050	

支出

科　　目	金　　額	内　　訳
賃金（会員外）	¥0	
謝金	¥840,000	SUPインストラクター団体(一般社団法人日本SUP指導者協会:SIJ)講師料：@15,000(前年から減額） × 8名 × 7回
物品費	¥44,550	インストラクター用Tシャツ @2970 × 15 ※マスク、消毒用アルコール、フェイスシールドは前年度のものを流用 検温計も保持
印刷製本費	¥18,000	チラシ@20×400枚、ポスター@200×50枚
保険料	¥122,500	三井住友海上レクレーション保険：@17,500 × 7回
使用料・賃借料	¥210,000	キッズ用ソフトSUP＋パドルセット＋ライフジャケット @5,000 × 6式 × 7回
合　　計	¥1,235,050	

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね１年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考１　示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

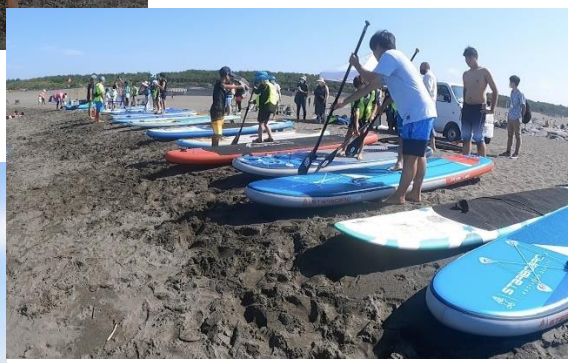
備考２　内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

添付資料：昨年の夏休みこども SUP 体験会の様子とアンケート結果

自団体 HP、Facebook、ﾒﾃﾞｨｱ HP など反響が大きく、毎回多数のこどもたちが集まり満員御礼でした。

準備体操後、SUP および海のレクチャーをします。

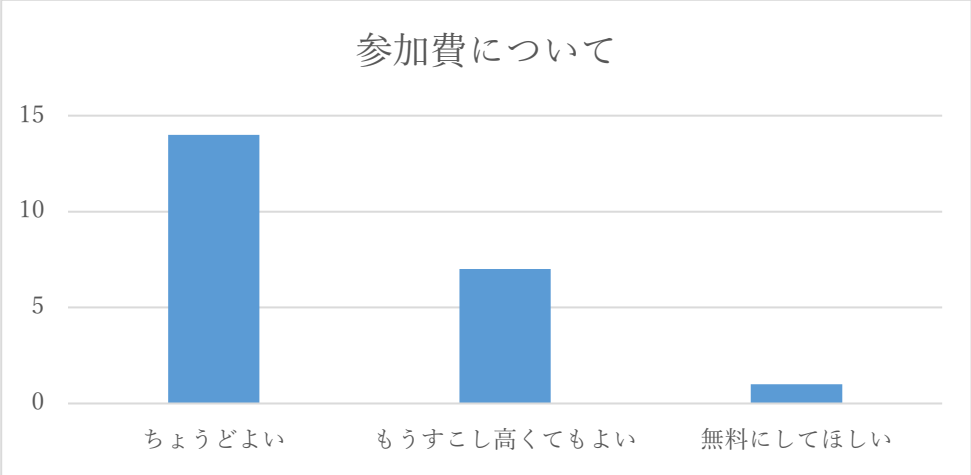
SUP のこと海のこと
こどもたちは一生懸命
聞き取ります！

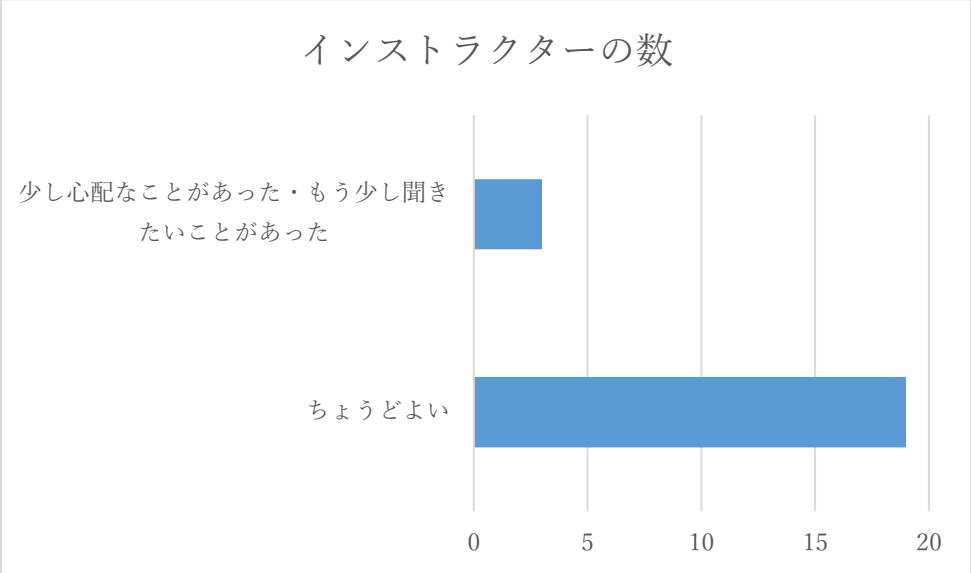


インストラクターがひととおりの講義を終えたら海へ！

とても楽しそうに海から上がることも忘れて楽しんでいました。

アンケート結果





参加費は５００円で「ちょうどよい」「もう少し高くてもよい」との意見があったが「ちょうどよい」が多数であったため、次回も５００円で行うことと致しました。
インストラクターの数は「ちょうどよい」が多数であったが、少し心配なところやもう少し聞きたいとの意見もあったため、次回は数を増やし、インストラクター一人当たりのこども人数を少なくして開催致します。

第１号様式（第７条関係）

市民活動推進補助事業企画書

2022年　1月　13日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称　BENIRINGO
代表者氏名　田中藍奈　阿部汐里

次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。

団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	(3) まちづくりの推進を図る事業 (7) 環境の保全を図る事業 (14) 情報化社会の発展を図る事業
事業の名称	❶フリーペーパーの編集・発行 ❷WEBサイトの更新と情報発信
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和4年　4月　1日から　　令和5年　3月　31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考　１　「事業の区分」欄には、第５条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

２　この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

第２号様式（第７条関係）

市民活動団体概要書

名称	BENIRINGO
連絡先	
設立年月日	令和元年　10月　1日
構成員数	3人（うち役員　　2人） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者　　2人 その他　　1人
情報の公開の方法	☑　ホームページへの掲載 ☑　その他の方法（ Instagram, Facebook　）
設立の経緯	共同代表の田中が、飢餓に苦しむ人がいる一方で食べ物を山のように捨てる人がいる。食だけではなく、環境や教育など世界には沢山の問題がある。 しかし、あまりにも多種多様でどうしたらよくわからない。そんな時にSDGsに出会い、これを多くの人が知り共通言語として問題について考えれば解決に向けた行動が見えるのではと、高校3年生の時に、中古パソコンを買い、SDGｓについてのフリーペーパーBENIRIRNGOを自費発行したのがきっかけ。現在は環境問題に軸を置き、行政や企業にインタビューを行い独自の目線で情報を届けている。情報伝達が不十分なことによる情報格差の解消にも貢献したい。
活動の目的	環境問題や社会課題についての情報発信を行い、一人一人が問題に対して当事者意識を持って行動することのできる社会の実現も目的としています。
主な活動内容	・フリーペーパー「BENIRINGO」編集、発行。これまでに茅ヶ崎の環境やごみ問題、地域の人々に着目し、全4号の発行を行い、49箇所に配架。 （それぞれ第一号200部、第二号500部、第3号500部、第四号1000部の発行を行なってきた。） ・令和3年度よりMOKICHI Foods Gardenにてクラフトループマルシェ主催 ・令和3年度より訪問授業実施。小出小学校など茅ヶ崎の小学校、中学校、高校を中心に5校に訪問し、神奈川の環境問題を中心にまとめ伝える。
年間決算額	109,000円
補助金の状況	団体名：生活協同組合パルシステム神奈川 補助金の交付を受けた年：2021年 補助金の名称：パルシステム神奈川　市民活動応援プログラム

備考　１　「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

２　「補助金の状況」欄は、過去５年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事 業 計 画 書

実施する事業について	・環境問題・地域の取り組み・ライフスタイルの提案をするフリーペーパー『BENIRINGO』発行、WEB サイトを利用した情報発信 茅ヶ崎中心とした湘南地域が抱える環境問題、地域の課題、地域の取り組み、個人単位で行うことが出来ることについてなどを、行政や企業、団体、個人に対しインタビューを行い独自の目線で発信します。 公開された情報から、課題解決に向けた情報や生活に取り入れることが可能な取り組みを知り、実践してもらうきっかけを提供します。 情報や活動の重要性に共感をしてくださる企業や団体、個人に協賛金を募り、MUJI 新宿様などに実際に協賛していただき発行費の一部に当てさせていただいております。 今後も環境に配慮した企業を取材し、繋がりから協賛を得られるよう活動していく所存です。 また、個人に向けた寄付金の募集口を WEB サイト上に設置し、個人単位の活動応援もやしていく予定でおります。 ❶フリーペーパーの編集・発行 具体的には、行政機関や企業、団体、個人に対しインタビューを行い情報収拾し、内容を独自の視点でまとめ、一部編集、デザインは外部委託し、印刷会社に印刷をしてもらい発行します。 取材は取材対象者の拠点に訪問しおこないます。 ❷WEB サイトの更新と情報発信 具体的にはフリーペーパーにて取材し執筆した記事を WEB サイトでも閲覧できるようにします。情報発信の基盤を確立し、より多くの人が気軽に情報に触れることが出来るような場を作ります。 すでに存在する BENIRINGO の公式 HP の改善および情報発信、新規開設ページの制作、編集をセカンドワーク協会様に委託予定。
事業の背景について	世界規模で起こっている自然災害や、気温の変化は日本でも大きな影響が出ています。目前に迫っているこのような気候危機の問題に対して、茅ヶ崎市も「気候非常事態宣言」を出しています。しかし、私たちの周囲や活動の中で、その宣言について知る人はおらず、市民レベルでの情報周知に至っていないことに課題を感じています。その原因に一つに、課題に対する詳しい情報発信があまり行われていないこと、発信されていても行き届いてないという現状があると考えています。

	デジタルネイティブ世代の私たちにできることは、このような課題に対して、環境問題の情報を得ることができていない人、無関心な人、そして若者世代に興味を持ってもらえるような POP な情報発信や、今までにない独自の視点での情報発信ができることだと考えています。そのような想いから、独自に取材を行い、記事にまとめて発行しています。
事業の目的や効果について	・自ら情報を取りに行く人しか情報を得ることができないという格差をなくし、誰もが円滑に情報を知れる環境をつくることで、環境に配慮したライフスタイルを日常化することができます。 ・市民・企業・行政が連帯し、気候危機をはじめとした環境問題の改善に向けたアクションを起こし、安心して暮らせる茅ヶ崎を築くことができます。 ・私たち自身が楽しく活動し POP な情報発信を行うことで、問題や課題に対してネガティブなイメージを与えず、関心や興味につなげることができます。 ・活動に関心を持ち関わってくれている高校生と共に、課題にのみフォーカスするのではなく、地域のお店や団体、行政の「活動」や「人」に着目し、BENIRINGO を通じて茅ヶ崎に新たな繋がりをつくります。
事業の広報について	（使用予定の媒体にチェック） □チラシ・ポスター　☑パンフレットなどの刊行物 ☑ホームページ　☑ Facebook　□ Twitter　☑その他のSNS（Instagra　） □市の広報紙　□市の広報掲示板　☑口頭にて伝達 □その他（　）
事業の実施体制について	インタビュアー：団体メンバー 写真撮影：団体メンバー ホームページ編集：NPO 法人セカンドワーク協会様に委託 フリーペーパー編集：外部委託（株式会社 L-Desing 様）と、団体内での編集にて完成 発行：フリーペーパーの発行は年 3 回とし、げんき基金の補助対象はそのうち 1 号分とする。印刷、発行は株式会社プリントパック様に委託（2500 部発行予定） 会計：団体メンバー（2 名）

備考　「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

第４号様式（第７条関係）

収支予算書

収入

科　　目	金　　額	内　　訳
1. 団体収入	74,428	団体活動費より充当
2. 助成金収入	297,000	市民活動げんき基金補助
合計	371,428	

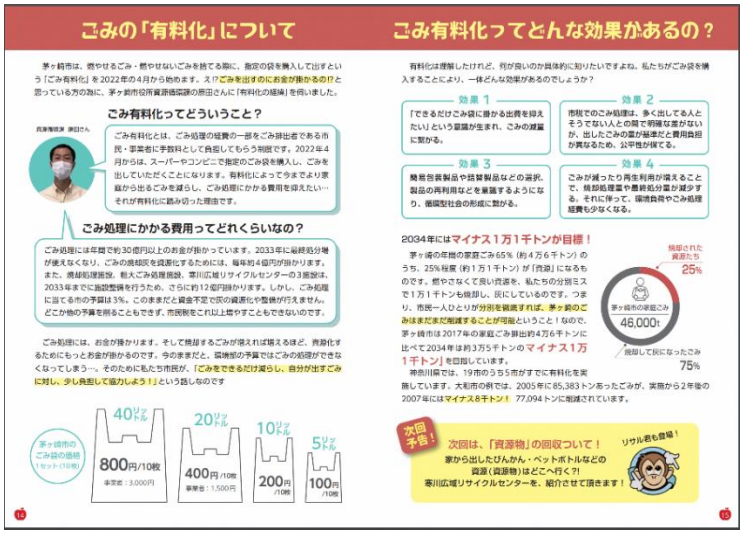
支出

科　　目	金　　額	内　　訳
1. 委託費	155,000	WEBデザイン ¥55,000 フリーペーパーデザイン ¥100,000(1号分)
2. 通信費	13,200	サーバー代 ¥13,200
3. 物品費	13,805	アダプター ¥8,198 （¥4,099×2） 撮影用フィルム ¥3,299（1,099×3個分） SDカード ¥878 USB ¥1430
4. 消耗品費	2,187	写真現像代¥729×3回分
5. 印刷製本費	96,236	フリーペーパー発行費（2,500部　1回発行分¥63,500）編集ソフト代 ¥32,736
6. 謝金	70,000	一人当たり¥10,000、1号当たり7人に取材予定

7. 交通費	21,000	往復¥1,500×7回×2人分の交通費（過去の取材をもとに計算）
合計	371,428	

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね１年以上）使用、保全できるものの内、1 万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考１　示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
　　また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。
備考２　内訳のうち、自団体のＰＲに係る経費については頭に★を付けてください。



フリーペーパー「BENIRINGO」
1～4 号の内容を抜粋し、掲載してあります。
環境問題や SDG s 、茅ヶ崎のごみ問題について市役所の方にも解説していただきまとめました。また、地域で課題に取り組んでいるお店や施設のインタビュー記事を掲載しております。

・アルミ缶のリサイクル工場に取材へ行った際の写真
実際に工場に取材に行き、工場の方からリサイクルの過程を見聞きし、記事を執筆しています。

・「こ BENIRINGO」取材風景
高校生の記者を「こ BENIRINGO」のメンバーに茅ヶ崎のお店や人をピックアップしてもらい、取材・執筆をお願いしています。
十代が地元に関心を持ち、地元の取り組みを自分の視点で発信することで、様々な世代がつながるきっかけにもなっています。

・訪問授業風景
フリーペーパーを通じてBENIRINGO を知った先生方が、BENIRINGO を学校へ招いてくださり、取材で得た情報をもとに、環境問題について小学校、中学校、高校で授業を行いました
フリーペーパーの活動が様々な形で広がりを見せています。

第１号様式（第７条関係）

市民活動推進補助事業企画書

令和4(2022)年1月13日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

提出者　　名称　　**ふらっと南湖**

代表者氏名　**松本素子**

次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。

団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	**(2) 社会教育の推進を図る事業** **(10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業** **(13) 子どもの健全育成を図る事業**
事業の名称	**子どもを大切に育むための「子どもの権利」勉強会＆地域交流会**
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和４年　４月　１日から　令和５年　３月　３１日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考　１　「事業の区分」欄には、第５条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

２　この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

0

第２号様式（第７条関係）

市民活動団体概要書

名称	**ふらっと南湖**
連絡先	
設立年月日	令和２年（2020）年　10月　4日
構成員数	５　人（うち役員　３　人） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者　３人　　その他　２人
情報の公開の方法	☑　南湖ハウスホームページへの掲載 ☑　その他の方法（南湖ハウス Facebook） ☑　南湖ハウスの活動チラシ・通信 ☑　茅ヶ崎市民活動団体ガイドブックに掲載
設立の経緯	代表の松本は実子の子育てをする中で子ども虐待致死事件を知り、家族に相談して2003年里親登録し、17年間一人の男児と季節里親として交流してきた。2010年にある事件をきっかけに「この指ねっと」という里親発信を始め、2020年、義母の遺した土地に「南湖ハウス」を建てることができた。2021年は認知がメインとなったが、2022年度は、社会的養護体験者も含むスタッフも加わり活動を進める。
活動の目的	2021年度は「ゆるい実家」という地域や当事者との「関係づくり」をメインで行ってきた。2022年度も引き続きそこは大切にしながら、活動の三本柱「子どもサポーター勉強会」「孤育て防止」「地域文化交流」の基礎となる「子どもの権利」の啓発を強化したい子どもや保護者だけでなく、法律家や議員、教育者、保育士など子どもへの関心者が集い、ディスカッションしながら理解を深められるようにしたい。「里親になるのは大変！」という意識のハードルを下げる「ライト級里親」の制度化の必要性も伝えていきたい。
主な活動内容	「子どもの権利に関する勉強会」の開催、地域交流イベント開催。子育てサロン、ユースサロン、他団体との交流や参加
年間決算額	概算　400，000　円
補助金の状況	団体名：茅ヶ崎市、かながわ生き活き市民基金 補助金の交付を受けた年度：2021年度 補助金の名称：市民活動げんき基金助成、福祉たすけあい基金助成

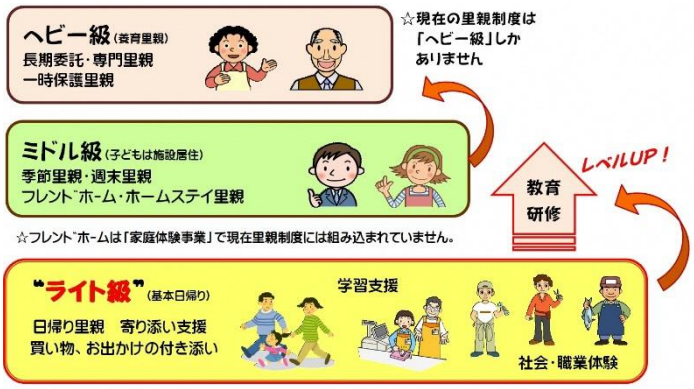
備考　１　「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

２　「補助金の状況」欄は、過去５年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事 業 計 画 書

実施する事業について	A「子ども権利をみんなで知ろう、学ぼう！」勉強会（全 6 回） ＜令和4(2022)年度 子どもの権利擁護啓発事業＞ ＊場所はオンラインが使える場所。動員人数によって変更の可能性あり。 A-1（5 月）「もし、子どもの権利が日本社会に知られていたら」 希望場所:図書館または男女共同参画推進センターいこりあ 希望日時:5 月14日(土) 13:30~16:30 ① 「子どもの権利」の概要 ～子どもの権利の４本柱～ ② 事件の分析「もし、子どもの権利が日本社会に知られていたら」 ～当事者の方たちと語り合う～ ③ 「子どもの権利」を学ぶ意味と「子どもの日」 A-2（6月） 子どもと親への社会サービスと社会的養護 希望場所:図書館または男女共同参画推進センターいこりあ 希望日時:6 月18 日(土) 13:30~16:30 ① 保育科の学びから「子どもの福祉」の現状を知る ② 社会的養護って何？～保護者が突然いなくなった時を想像しよう～ ③ 地域・学校・家庭から離されない社会的養護を考えよう！ ④ 里親って何？ A- 3（7月） 里親を知る映画鑑賞とシェア 希望場所:図書館または勤労市民会館 A 会議室 希望日時:7 月 23 日(土) 13:30~16:30 ① 佐野翔音監督の映画「育ててくれてありがとう」放映 ② 監督との対談 A-4（8 月） 学校が救った被虐待の子どもと今 Three Flags(社会的養護当事者活動家)の発信 希望場所:商工会議所大会議室 希望日時:8 月 6 日(土) 13:30~16:30 ① Three Flags のブローハン聡さんの体験談からの気づきと影響 ② 西坂來人さんと山本まさ子さんの居場所づくり活動について ③ Three Flags の今後の活動とビジョン A-5（10月)地域の児童養護施設と里親の連携 ② 里親月間(10 月)と子どもの虐待防止月間(11 月) ② 子どもの権利の生みの親(コルチャック氏)の本等の紹介 ③ 日本における戦争による子どもへの影響：「駅の子」「火垂るの墓」 希望場所:図書館または男女共同参画推進センターいこりあ 希望日時:10 月 8 日(土) 13:30~16:30

	A- 6（令和５年2月）「子どもの権利」を学んで 希望場所:図書館または男女共同参画推進センターいこりあ 希望日時:2 月11 日(土) 13:30~16:30 １年間学んできたことにいて参加者とディスカッション 子ども・若者にとって「自分の持つ権利」を知ることで、自分の人生を自らに引き寄せることができる。「親の良かれ」が必ずしも「本人の良かれ」とは限らず、子どもには「親とは別個の人格と意志があること」を保護者が自覚することは、親子関係が良好に続くことにつながる。 （対象） 子どもと保護者、子ども関係の仕事従事者、テーマに関心のある市民、各回２０名以上 （講師） A-1(5 月)： 松本 A-2(6 月)： 保育士養成の講師 (司会松本) A-3(7 月)： 佐野翔音監督 (司会松本) A-4(8 月)： Three Flags の 3 人 (司会松本) A-5(10 月) : 松本 A-6(2 月)： 松本 （費用） 無料 B 地域交流会「子どもは地域のみんなで育てよう！」 B-1（4/23 土）南湖ハウスの庭へようこそ！お花を植えよう Part.1 近所の保育園や住民の方と一緒に肥料を作ったり、花を植える。 B-2（9/10 土）南湖ハウスの庭へようこそ！お花を植えよう Part.2 B-3（年末年始）お正月と里帰り「ゆっくり会って、お話しよう」 （場所） 南湖ハウス （対象） 近隣の子どもと保護者、保育士、学校教諭、関心のある市民 （費用） B-1 のみ、参加費 200 円(苗と保険料)
事業の背景について	昨年は、南湖ハウス、松林公民館、南湖公民館で「子どもの権利のイラスト展」を開催し、ハウス内では「子どもサポーター（育成）勉強会、子育てサロン(孤育て防止)・ユースサロン、地域交流イベントの３本柱をベースに活動をしてきたが、「子どもの権利」についての理解がスタッフの中でも十分でないことがわかった。2022 年度は「子どもの権利」の必要性が腑に落ちるように茅ケ崎市内の公共施設を使って多くの方に啓発したい。また、2016 年に児童福祉法が改正され、子どもは、「子どもの権利」に基づいた権利の主体者となったが、5 年経った今でも十分に子どもや保護者、彼らを支える職員に十分共有されているとは言い難いので行う。

事業の目的や効果について	「地域」が「家庭」とともに子育ての「土壌」であり、「保育園」や「学校」は子どもにとっての「社会」である。家庭内の見えにくい様々なトラブルも地域だから気づけることがあり、その気づきは子どもだけでなく、家族も助けることにつながる。孤立する子どもや家庭内には様々な社会問題(貧困、暴力、病)が起きており、その防止解決は家庭だけでは困難で、周囲の気づきや介入も必要だ。社会的養護は、家族分離で後で断絶を生み、一生の傷にもなるため、予防が重要となる。地域にたくさんの子どもサポーター(里親など)が増えることで、家庭問題の深刻化も解消され、親が楽になれば子どもの笑顔も戻る。週末里親や短期里親、日帰り里親など、まずは試せる「ライトな関わりのライト級里親」の普及を望んでいる。支持者多数。  。
事業の広報について	（使用予定の媒体にチェック） ■チラシ・ポスター　■パンフレットなどの刊行物　■ホームページ ■Facebook　■市の広報紙　■市の広報掲示板　■口頭にて伝達 ■その他（グループメールなど　　）
事業の実施体制について	総括　代表者１人 会計　一人 広報　３人 会場設営　５人以上 協力者　早稲田大学里親研究会、Three Flags、当事者、議員、 茅ケ崎商工会議所会員様、他

第4号様式（第7条関係）

収支予算書

収入

科　　目	金　　額	内　　訳
1　団体収入	67,240	会費、団体への寄附等、団体資金から充当
2　事業収入	8,000	参加費　200円×20人×2回（B花壇づくり）
3　補助金収入	298,000	市民活動げんき基金補助
合　　計	¥373,240	

支出

科　　目	金　　額	内　　訳
謝金	160000	A−1,2,3,4,5,6(8人）×20.000円＝160,000
旅費	27000	スタッフ交通費補助　9回(1人1.000円×3人×9＝27,000)
物品費	36200	★用紙:A4カラー(800円×12冊）+A4白(500円×2冊）=10600
		消毒液(2000円）+マスク(600円）=2600
		B−1:花(200円×100株）+肥料（3,000円）=23000
印刷製本費	37400	★通信印刷代(100円×12）、冊子等印刷製本代(20,000）文具
		勉強会の資料印刷代（3枚×30円×30人×6回＝16200
通信運搬費	28000	郵便料金(140円×200人×1回）：勉強の内容を冊子にまとめて配布
使用料・賃借料	55000	「育ててくれてありがとう」映画レンタル料(50,000＋税5000）
	29640	商工会議所大会議室(26400）　勤労市民会館A研修室（3240）
合　　計	¥373,240	

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね１年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考１　示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
　　また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考２　内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

「ふらっと南湖」のステップアップ事業について

令和 4（2022）年 1 月
代表　松本　素子

[コロナ禍の今]

コロナの流行と共に大きく変化した社会で、経済の落ち込みと共に、家を失ったり、経済的に追い込まれる人が増えています。行政の手も届かず、申請もできない人もいて、命を守れない状態。自殺も増え、他人を傷つける事件も増えています。そうした自傷他害の根は同じだと感じます。同じ日本という船に乗って、生きている私たち。隣人に自殺しそうな人、虐待や DV に苦しむ人、犯罪に追い込まれる人が居て、自分だけが幸せを感じる人は少ないと思いますし、その人に「自己責任」と突き放すのはあまりにも冷たいことです。むしろ、「何をすればいいかわからない」という声はあり、その気持ちと助けてほしい人の間の『橋渡し』が上手くいっていないのだと思います。

昨年 12 月 5 日の日本子ども虐待防止学会で、西坂來人さん(絵本作家・当事者活動 ThreeFlags 等)が発言された「大人が本気になれば、解決できる」という言葉に希望が持てましたが、今は大変な時代だけども「戦後」よりはマシなこともある。昔できた「分かち合い」（例えば部屋、場所、食事、衣料など)ができれば、足りてくることもあるのではないでしょうか。それは、子育ての負担も同じです。お金や物資でなくても「時間を使う」「話を聴く」だけでも救われる人がいます。南湖ハウスをオープンして 5 ヶ月余りですが、「聴くこと」「一緒に話をすること、食べること」の大切さを強く感じます。まだ続くこの厳しい時代を乗り越えるのに「つながり」力を発揮するのは、弱っている当事者よりむしろ周囲が持つべき力だと思います。

[次年度は子どもの権利]

私たち日本人は法律に弱いと感じています。何故かと考えた時、「自分のもつ権利」についての教育が少なかったからです。「子どもの権利」というと、「子ども権利を持たせるとロクなことにならない」「子どもは半人前」「子どもは大人の所有物」という意識の大人がおり、大人の自己都合で「子どもが権利を主張されると困る」「子どもを一個の人格を持つ人と考えたくない」という心が見えてきます。また、それは女性蔑視、ジェンダーの問題もつながっているように思います。

今年の 8 月に登壇いただく Three Flags の 3 人は、かつて、「子ども権利」を知らない大人たちによって、暴力を受けたり、命の危険にさらされた経験のある方たちです。最初の 5 月のイベント「もしも、子どもの権利が日本社会に知られていたら」は、権利の学びの意味を知ることができるでしょう。彼ら 3 人は、子どもの代弁者であり、アドボゲイターだと思います。

「大人はかつて子どもだった」ことを思い出し、自身の体験で「大人にこうしてほしかったこと」を思い出し、今の子どもに出来ることを考えて実行していただきたいと思います。子どもたちの「声なき声」は、「聴こう」としなければ見落とされてしまいます。親以外の身近な大人は、学校と地域です。学校で救われたブローハンさんの話は、特に教職の方に聞いていただくことで救われる子どももいるでしょう。

大人が「子どもの権利」を正しく知り、法律が整備されていたら、船戸結愛ちゃんや栗原心愛ちゃんは亡くならないで済んだはずです。

「子どもの権利」を学ぶべきは、子ども以上大人たちです。ぜひ、一緒に学んでいきましょう。

登壇者の紹介

①佐野翔音監督（7 月）･･･佐野監督との出会いは、2015 年の湘南大和里親会で神奈川県里親大会を企画している中で、役員をしていたので出会うことができました。その大会では、家庭内虐待にフォーカスした映画「わたし、生きてていいのかな」を上映しました。打ち合わせで監督と「里親の話」をする中で、里親への関心をもっていただき、次作は「こども食堂にて」で里親も登場することとなり、文部科学省選定作品にもなりました。（松本は企画支援という形で関わらせていただきました）

今回の新たな作品は、試写会(12/28)で見ましたが、里親の生活・役割・悩みや迷いと共に里子の思いや実の親の状態を丁寧に描き出した作品で、これを観れば、里親を考えている方のモヤモヤした不安をある程度解消することができるのではないかと思います。

②Three Flags（8 月）･･･リーダーの西坂來人さんとは、5 年ほど前に早稲田大学里親研究会の定例会でご登壇いただいたのがご縁で、その後、山本昌子さんとブローハン聡さんにも定例会でお話を聴かせていただきました。以後、研究会のメンバーと ACHA プロジェクトの報告会やクローバーハウスの見学に出かけたり、様々な形で交流を続けています。（早稲田大学里親研究会の HP も西坂さん作）

今回の登壇依頼は、12 月 5 日の日本子ども虐待防止学会での「教育講演 6 」で「社会的養護当事者からの発信」として、初めて学会で登壇され、それをもっと多くの方々に聞いていただきたいと思ったからでした。Three Flags の YouTube チャンネルの no.18 でも「子どもの権利」を扱っていますが、様々な方への対談もぜひ、視聴して、ご参加いただき、当日対話していただきたいと思います。

その他の会は、登壇者は今のところ未定ですが、代表松本との対話形式で行いたいと思います。

第１号様式（第７条関係）

市民活動推進補助事業企画書

2022 年 1 月 13 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称　特定非営利活動法人こども応援丸
代表者氏名　理事　津田眞利

次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。

団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	13)子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	鶴嶺中学の学習支援開始の感染防止対策とパワフル大作戦
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考　1　「事業の区分」欄には、第５条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

2　この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

第２号様式（第７条関係）

市民活動団体概要書

名称	こども応援丸
連絡先	
設立年月日	2017 年 5 月 1 日
構成員数	163 人（うち役員 ~~13~~ 6 人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者　132 人 その他　31 人
情報の公開の方法	□　ホームページへの掲載 □　その他の方法（ フェイスブック。 ）
設立の経緯	当時茅ヶ崎市内の中学生の一部が荒れており、そのこどもたちは居場所を失っていた。そして「たむろす」という状態がそこにはあったので地域の大人として「つどう」という居場所づくりをめざし、そこで学習支援を行おと思ったのが最初です。
活動の目的	学習支援を通じてこどもたちの居場所をつくるとともに、~~そ~~そこで運営を支えてくれている人々の~~所~~居場所づくりや~~地域~~活動貢献を通じていきがいを感じてもらう。
主な活動内容	・これまで市内3校の毎週各校1回づつの対面学習会の開催 ・3校に対するリモート学習会を週3回 ・学校主催のサマースクールへの協力　等
年間決算額	1216,008.-　円
補助金の状況	団体名：　湘南ロータリークラブ 補助金の交付を受けた年度：　2019年度 補助金の名称：　えにした基金

備考　1　「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

2　「補助金の状況」欄は、過去５年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

第３号様式（第７条関係）

事業計画書

実施する事業について	①鶴嶺中の学習支援活動を通じて子どもたちの居場所づくりをすること。 ②私どもの活動を今以上により広く、より深く広報し、よりご理解いただくことでこの活動を永く続けられるよう活動基盤を築きたいと思います。その為に隔月の広報紙の発行と、賛助会員の増員を図る為の広報活動 ③より多くの中学生児童が学習支援活動へ参加しやすくする環境作りの為のインスタグラム等のSNS発信システムとそれらを活かした相互対話による個人的悩み相談の受け入れ体制づくり、その基地局となるホームページの一新をしてヒモズケしたいと思います。 ①－夏休みサマースクールからの学習会、その後公民館を中心とする週1回の対面学習会と週3回のリモート授業　（コロナ対策）会場定員人数内での活動とアルコール除菌、換気、飛沫防止などのハード面の徹底。 ③－学習会~~での~~随時の発信と週1をめざしてでの相談室。
事業の背景について	鶴嶺中におられるSSWさんが「勉強に極端に躓く児童、不登校となっている児童、塾へ通えない経済格差の中にある児童が多くいる」と学校管理者に話しをされ、管理者より、既に市内3校における実績がある私どもに依頼があり、それにお応えすべく学習支援をこちらでもやらせて頂こうと思ったこと。 来年度から茅ヶ崎市からの委託事業から外れてしまう。本来であれば当たり前のごとく行政が進めなければならない経済格差から生まれる教育格差を地域として穴埋めしていかなくてはならない。その基盤をいま構築していかなくてはならない。
事業の目的や効果について	既に三校において学習支援は行っており、不登校の児童が応援丸を通じて階段を上がっていくように、学校へ通えるようになったり、塾へ通えなくても希望の県立高校へ合格した凡例が数多くあります。また学習支援をする側でもこの事業を続けてきた経験をいかし、本人の夢でもあった教員になることをこの春はたした人がいたり、ボランティアさん同志の居場所づくりにもなっています。 私どもの活動を深くご理解頂くことで、安定的な学習支援活動を続けられていけるようになる。また教職員にもよりご理解いただくことで学校と共に市民団体である我々と緊密なやりとりを構築し協力をより堅固なものとすることができる。
事業の広報について	（使用予定の媒体にチェック） ☐チラシ・ポスター　☑パンフレットなどの刊行物 ☑ホームページ　☑Facebook　☐Twitter　☑その他のＳＮＳ（インスタグラム） ☐市の広報紙　☐市の広報掲示板　☑口頭にて伝達 ☐その他（　　）
事業の実施体制について	今まで以上に鶴嶺中からは学校側~~からは~~一体となっての協力体制をお約束いただいており、当方といたしましても、これまでのノウハウを活かして、更にはボランティアさんも増員させていく予定であります。 これまでにご協力頂いておりますボランティアさんは多岐に渡り専門的知識を多くお持ちの方がおられることや、学習支援対称の中学生に年齢的に近い高校生、大学生が多くなっていることは、より感情がわかりあえたりコミュニケーション内容についてもつながりやすいと思っています。 鶴嶺中へのボランティア講師　8～12人/回。 広報活動員　4人　　協力者：ホームページ作成者が消息不明で書き変ができないので新調したい。

備考　「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

第4号様式（第7条関係）

収支予算書

収入

科　目	金　額	内　訳
団体収入	31,245	団体資金より充当。
補助金収入	123,800	市民活動げんき基金補助
合　計	154,245-	

支出

科　目	金　額	内　訳
委託料	50,000-	ホームページ作成料　50000.
謝金		
物品費	91245	サーキュレーター @6630×3 = 19890 パネルパーテーション @1650/3枚×10 = 16500. 非接触型体温計 @43000 43000 アルコール消毒液 @493×3 = 1479 教科書一式 7626
印刷製本費	13000-	ホワイトボード @110×10 1100 上記マジック @110×10 1100 ファイル @110×5 550
通信運搬費		パンフレット（賛助会員用）2000枚 10000円 広報紙カラー @5×100×6回（偶月） 3000円
合　計	154,245	

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね１年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考１　示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考２　内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

第４号様式の２（第７条関係）

物品購入理由書

1	物品名	見積金額	使用頻度
	非接触型体温計	43,000- ~~43,265~~	毎回
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	コロナ禍における安心安全の確保の為		他の会場で使用。
2	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
3	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
4	物品名	見積金額	使用頻度
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い

第１号様式（第７条関係）

市民活動推進補助事業企画書

令和４年　１月　１３日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称　わんにゃんマルシェ実行委員会
代表者氏名　古知屋　友里

団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	（７）環境の保全を図る事業
事業の名称	いのちの教室（仮）in「わんにゃんマルシェ」
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和４年　４月　１日から　　令和５年　３月　３１日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考　１　「事業の区分」欄には、第５条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

２　この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

第２号様式（第７条関係）

市民活動団体概要書

名称	わんにゃんマルシェ実行委員会
連絡先	
設立年月日	平成２９年　４月　１日
構成員数	８人（うち役員　５人） 市内在住（在勤及び在学を含む。）者　８人 その他　人
情報の公開の方法	☑　ホームページへの掲載　https://wannyan-marche.net/ □　その他の方法（　）
設立の経緯	「わんにゃんマルシェ」は保護犬保護猫の数を減らすべく、飼い主さんやこれからペットを飼おうと考えている皆さんへの、動物愛護の心構えなどの啓発活動を目的に、平成28年から開催しているチャリティイベントです。 平塚にある神奈川県立動物愛護センターに捨て犬捨て猫として持ち込まれる動物の命を１匹でも救いたい！との思いから有志が集まり小さなイベントとして始まりました。 捨てられる動物たちの現状や、動物を飼うということその命を一生責任もち飼育するという心構え、また動物を飼う前に知っておきたいしつけやマナーのことなどを、より多くの方に知ってもらうために平成２９年４月より実行委員会を組織し、年に１～２回程度のイベントを開催しております。
活動の目的	保護犬保護猫の幸せを願って、人と動物がともに幸せに暮らせる社会の実現を目的とする。
主な活動内容	年に１～２回のチャリティイベント開催
年間決算額	195,000円
補助金の状況	団体名：茅ヶ崎湘南ロータリークラブ 補助金の交付を受けた年度：平成30年度・平成31年度 補助金の名称：えにしだ基金 団体名：茅ヶ崎市 補助金の交付を受けた年度：令和2年度・令和3年度 補助金の名称：げんき基金

備考　１　「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

２　「補助金の状況」欄は、過去５年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事 業 計 画 書

実施する事業について	**「①いのちの教室（仮)」　in　「②わんにゃんマルシェ」** 日程：令和４年４月～令和５年３月 「①いのちの教室（仮)」を年間４～５回開催 10 月頃にチャリティイベント「②わんにゃんマルシェ」開催 「② わんにゃんマルシェ」内でも「①いのちの教室（仮)」を予定 場所：①茅ヶ崎市内公共施設：コミュニティセンター・公民館・ 文化会館・市役所会議室・ うみかぜテラス等 ① 茅ヶ崎市内民間施設：コワーキングスペースやカフェでの開催 ② チャリティイベントは茅ヶ崎中央公園にて 10 月頃に開催予定 対象：動物を飼っている、またはこれから飼いたいと思っている人 動物保護に興味のある人 動物好きなすべての人 費用：参加費　「①いのちの教室（仮)」は無料 チャリティイベント「②わんにゃんマルシェ」の譲渡会ブースへの入場料として小学生以上お一人 100 円 概要：年に１度の大きなイベントとして活動してきた「わんにゃんマルシェ」ですが、コロナ流行の影響下以前と同じようにイベントを開催することに難しさを感じています。令和３年度のイベントも昨年 11 月に予定していたものをコロナの感染状況を計りつつ開催延期、今年３月には開催予定で準備を進めてはいますがオミクロン株の流行もあり先の読めない状況ではあります。 今まで通り屋外のイベント会場でたくさんの人を集めて、そこで動物愛護についてより多くの人に考えるきっかけにしてもらうという形が持続できるかわからない今、違った形でも動物愛護の啓発活動が出来ればと思い今回「いのちの教室（仮)」という活動を考えました。 私たちが皆さんに知っていただきたいことは、「なぜ保護犬保護猫がい

	るのか、なぜ捨てられる命がなくならないのか、動物を飼うということ、私たち一人一人が考えるべきこと」です。それをプロの方にクオリティの高い動画として作成していただき、それを持って実行委員が持ち回りでいろんな会場で「いのちの教室（仮）」として開催したいと思います。動画を見てもらい、実行委員からもう少し詳しい説明をし、参加者さんからの質疑応答に答える形です。 もちろん今まで行ってきたチャリティイベントも事情が許す限り開催の計画を立て実施したいと考えています。今年度も 10 月～11 月に開催予定とし準備は進めその会場でも「いのちの教室（仮）」を実施いたします。 イベントでは参加保護団体 7 団体前後を予定。他に物販やキッチンカーの出店も予定。イベント内容は、「いのちの教室（仮）」、保護犬保護猫の譲渡会、ペットしつけ教室マナー教室等を予定。 譲渡会への入場料は全額保護団体さんへの寄付とします。 年に 1 度の大きなイベントだけではなく、もし仮にそのイベントが出来ないとなった時にも年間を通して動物愛護の啓発活動を知ってもらうための発信の場所としての「いのちの教室（仮）」です。今年度は茅ヶ崎市内の公共施設や民間施設を借りて、コロナ流行や世の中の状況を見据えて不定期開催とし、将来的には小学校や中学校の授業の一つとして取り上げてもらえるように働きかけていきます。 また、作成した動画は Youtube チャンネルを開設しわんにゃんマルシェの HP に掲載してどなたにも見てもらえるようにします。それと合わせて「いのちの教室（仮）」の会場の様子を都度撮影、ダイジェスト版として載せたり、ライブ配信したりしてその日参加できない人にも興味を持ってもらえるように周知していきます。 【新型コロナウィルス感染予防対策】 「①いのちの教室（仮）」は屋内開催になるので各施設の定めた決まりにのっとり定員を決め、名簿の記入、検温、消毒、会場の換気等を徹底します。使用した器具はその都度アルコール除菌ウェットティッシュにてふき取り清浄いたします。 「②わんにゃんマルシェ」については例年通り譲渡会入り口にて検温、消毒、名簿の記入にご協力いただき、また入場を待つ間の混雑緩和のために整理券の配布、各出店者さんにおいての感染対策の徹底、会場内随所に新型コロナウィルス接触確認アプリ cocoa の QR

	コードを提示してアプリの導入を促していきます。予算内にあるトイレットペーパーは中央公園の公衆トイレ用のトイレットペーパーをこちらで準備して補充しています。
事業の背景 について	ペットとして飼われていた動物たちが捨てられ、今でもたくさんの犬や猫が動物愛護センターに保護されています。神奈川県の活動である「動物の殺処分０」を目指し、平塚にある動物保護センターは新しく建て替えられ「処分するための施設」から「生かすための施設」として令和元年に動物愛護センターに生まれ変わりました。犬は平成２５年度から猫は平成２６年度から殺処分０を継続出来てはいます。しかしそれは殺処分になる前に新しい飼い主さんを見つけるために努力している動物保護ボランティアさんたちの懸命な活動の努力の結果なのです。ペットを平気で捨てる人がいなくならない限り、根本的な解決には繋がらないのでは？そのために出来ることは何か？と考えた時に、動物を飼う前に知ってもらいたいこと考えてもらいたいことを、より多くの人に訴えるために始めたのがチャリティイベント「わんにゃんマルシェ」の開催でした。 その「わんにゃんマルシェ」をリアルイベントとして開催することが難しくなっている今、私たちに出来ることは何か？と考えた時に実行委員から出た提案が「いのちの教室（仮）」でした。仕事も学びもオンラインが当たり前になった今の時代に、屋外の大きなイベントが出来ない場合でも、少人数に訴えかける場を私たちのリアルな声を届ける場を作りたい。それも難しい状況の時にはオンラインでの配信が可能になるようにクオリティの高い動画を作成しておき、それを見てもらえるように準備しておきたいということが背景にあります。 動画をプロに作成してもらおうと思ったのは、実行委員だけでは技術や知識が全く足りていないことと、将来子どもたちの学習の一環として採用してもらえるようなきちんと学びに結びつく内容にしたかったためです。

事業の目的や効果について	捨てられるペットの現状やその原因を知ってもらい、ペットを飼っている（これからペットを飼おうと検討している）皆さんに、動物を飼うということは命を預かること、一生責任を持って飼育するということへの啓発活動が一番の目的です。 ただ、根本的な解決は捨てられる動物がいなくなることだと思っています。そのためには私たち飼い主である人間が動物を捨てない社会、動物の一生に責任もてる社会にする必要があると思っています。 「いのちの教室（仮）」を通じて動物を飼うということを真剣に考えてほしいと思います。動物を飼っていなくても自分の住んでいる街に野良犬や野良猫が多くいたら、それはなぜだろう？と地域のこととして考えるきっかけにしてほしいと思います。 「いのちの教室（仮）」で命の大切さを知ってもらい来場者さんには啓発のためのパンフレットを配布、イベントでのしつけ教室やマナー教室では飼い主さんにも必要なことを学んでいただきます。 動物を飼うことは自分のこと自分の家のことだけではなく、地域にも受け入れられてルールを守り共生していくということ。そして周りの人もそれを受け入れてくれる、そんな優しい世界が茅ヶ崎市に広がることを目的とします。
事業の広報について	（使用予定の媒体にチェック） ☑チラシ・ポスター　☑パンフレットなどの刊行物 ☑ホームページ　☑ Facebook　☐ Twitter　☑その他のSNS（instagram　） ☑市の広報紙　☑市の広報掲示板　☐口頭にて伝達 ☑その他（市内のタウン誌等　） 「①いのちの教室（仮）」は告知チラシを制作、ご協力いただける市内店舗さま、公共施設（公民館・コミセン等）に掲示を依頼、またチラシを置いていただきます。 「②わんにゃんマルシェ」はポスター・チラシを制作、市の広報掲示板に掲示していただきます。開催前にはチラシのポスティングも考えています。イベント当日には、動物愛護の啓発活動のパンフレット、わんにゃんマルシェ HP の案内をご来場いただいた方に配布予定です。 また①②ともにホームページでの告知、FB・インスタなどの SNS にて拡散広報活動をします。市の広報誌、地域のタウン誌にも掲載を依頼して紙媒体でも告知を予定しています。

事業の実施体制 について	総括：代表者１人 会計：２人 広報：実行委員全員で 当日の進行：「いのちの教室（仮)」実行委員２～３名 チャリティイベント「わんにゃんマルシェ」 実行委員８名＋当日ボランティア１０～１５名を予定 しつけ教室マナー教室講師２名

備考　「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

第4号様式（第7条関係）

収支予算書

収入

科　　目	金　　額	内　　訳
出店料	90,000	キッチンカー出店料8,000円×5店舗　物販出店料5,000円×10店舗
入場料	50,000	おひとり100円×500人
団体収入	45,170	団体運営資金より
補助金収入	303,000	げんき基金より
合　　計	¥488,170	

支出　（①いのちの教室（仮）②イベントわんにゃんマルシェ）

科　　目	金　　額	内　　訳
賃金（会員外）	¥70,000	②警備員20,000円×１　①②当日受付5,000円×5　①②会場整理5,000×5
謝金	10,000	②しつけ教室・マナー教室講師5,000円×２
旅費	17,000	①②茅ヶ崎市内バス代400円×25名　①②寒川・辻堂電車代380円×５　②横浜電車代1,020円×５
物品費	58,550	①ビデオカメラ34,000円　①三脚3,000円　①HDMIキャプチャーボード5,000円　①スピーカーフォン6,000円　①②消耗品（コピー用品・インク代）5,500円　②リストバンド500枚2,350円　①②アルコール消毒2,000円　①②ウェットティッシュトイレットペーパー700円
印刷製本費	29,000	①いのちの教室告知用チラシデザイン料5,000円　印刷代2000部4,000円　②イベントチラシポスターデザイン料10,000円　印刷代5000部10,000円
通信運搬費	7,400	②出店者・参加団体へのチラシ郵送量370円×２O
使用料・賃借料	36,220	①いのちの教室会場費2,000円×5か所　②イベント時公園使用料15,000円　②パーテーションポール330円×30本　②ポール用チェーン440円×3本
動画制作費	165,000	①動画クリエイターさんに制作依頼予定
寄付金	95,000	②入場料全額、出店料の半額を寄付に
合　　計	¥488,170	

支出欄のナンバリングは①いのちの教室（仮）②イベントわんにゃんマルシェのどちらにかかわる予算かのざっくりした目印のためにつけています。

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね１年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考１　示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
　　また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考２　内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

物品購入理由書

1	物品名	見積金額	使用頻度
	ビデオカメラ	34,000	年間５～６回
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	「いのちの教室（仮）」のための動画撮影と配信用WEBカメラとして使用		団体で所有し今後も定期的に動画配信等で使用していく

第８回「わんにゃんマルシェ」イベントの様子
令和２年１１月８日　茅ヶ崎中央公園

第8回わんにゃんマルシェの様子

ポスター・チラシ

会場内
各ボランティア団体さんによる
保護犬・猫の譲渡会

各団体さんもいろんな対策を
しつつ参加してくれました。

会場を仕切り入場制限をして
密にならないように工夫を

ペットを連れたご来場者さんも
たくさんいらっしゃいました。

令和３年度「わんにゃんマルシェ」ホームページ完成

https://wannyan-marche.net/

第１号様式（第７条関係）

市民活動推進補助事業企画書

令和４年　１月　１２日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

提出者　名称　一般社団法人４Ｈｅａｒｔｓ
代表者氏名　　那須かおり

団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	**(1) 保健、医療又は福祉の増進を図る事業** **(3) まちづくりの推進を図る事業** **(13) 子どもの健全育成を図る事業** **(16) 経済活動の活性化を図る事業**
事業の名称	**スローコミュニケーションプロジェクト**
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和４年　４月　１日から　　令和５年　３月３１日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考　１　「事業の区分」欄には、第５条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

２　この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

第２号様式（第７条関係）

市民活動団体概要書

名称	一般社団法人４Hearts
連絡先	
設立年月日	令和２年　５月　２５日
構成員数	3人（うち役員　　3人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者　　2人 その他　　人
情報の公開の方法	☑　ホームページへの掲載 ☑　その他の方法（茅ヶ崎市民活動団体ガイドブックに掲載、Facebook）
設立の経緯	聴覚障害者のための人権や障害福祉については、運動のお陰で少しずつ認められてきています。反面、障害の陰に隠れ心理面がおざなりになってしまったという問題点があります。また、手話を母語とする人達は、同じ日本に居ながらにして言語が違う為、そこから生じる文化的背景をも肌感覚で理解した心理カウンセラーの育成が急務です。そういったことから、社会との接点となる「場」の必要性を実感するに至りました。
活動の目的	聴覚障害をはじめとした社会的マイノリティな人々に対して、情報発信、カウンセリングやピアサポート、社会と繋がる場所づくりに関する活動（事業）を行うことにより、障害の有無に関わらず対等に社会参加できる社会の実現に寄与することを目的とする。
主な活動内容	① **ポータルサイト運営事業** インタビューや対談、寄稿などでロールモデルを提供。 ② **みみここカフェダイアローグイベント開催** 偶数月に開催し、2022年2月で9回目となる。 ③ **神奈川大学との共同研究** 人間工学の観点からコミュニケーションデザイン ④ **聴覚障害体験研修・講演** 子どもたちへのワークショップや小学校講演、企業研修 ⑤ **チャレンジキッチン** 毎週月曜ランチタイムで飲食提供 ⑥ **スローコミュニケーションプロジェクト実行委員会** 雄三通りをスローコミュニケーションストリートに。

＜昨年の活動実績＞

① 雄三通りを「スローコミュニケーションストリート」に

プレンティーズさんでメニュー改善（指差しメニュー）に取り組んでいます。

つちや酒店さんでは、発話困難なご主人が地域の人とお酒について、もっとコミュニケーションが取れるようにするための取り組みも始まっています。

② 神奈川大学工学部経営工学科人間工学研究室と共同研究

神奈川県による「ともに生きる社会かながわ憲章普及啓発プロジェクト」の一環。

スズキヤ鵠沼店で実証実験を行い、聞こえない・聞こえにくい人の買い物時の困難を解消するためのツール開発をしました。

※「店内マップデザイン」が人間工学会関東支部大会 奨励賞を受賞

③ 将来の場づくり（カウンセリングルーム併設カフェバー）に備えたチャレンジキッチン。

毎週月曜ランチタイムに、飲食店を借りて実施中。聴覚障害のある那須がホールを担当するため、お客様とのコミュニケーションがとりやすい指差しメニュー開発も実施。

④ 聴覚障害体験ワークショップ開催。 親子での参加が中心

⑤ NHK『ろうを生きる難聴を生きる 気持ちを言葉に～聴覚障害者への心理支援～』密着取材。
https://www.nhk.or.jp/heart-net/program/rounan/1786/

⑥ NPO 法人 ETIC. 社会起業塾 2021 年度花王社会起業塾の塾生に。
https://kigyojuku.etic.or.jp/

⑦ 茅ヶ崎青年会議所に所属。公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会共創者育成委員会に出向。

『第 15 回かながわハイスクール議会』で、平塚ろう学校の支援へ。

	⑧ 12月茅ヶ崎市議会一般質問で『スローコミュニケーションプロジェクト』が議題にあげられました。それに続き、2022年1月には茅ヶ崎市長と対面でご説明。 ヘッドフォンでの聴覚障害体験と、シティープロモーションに繋げていくためのディスカッションをさせていただきました。
年間決算額	▲359,127　円
補助金の状況	団体名：茅ヶ崎市 補助金の交付を受けた年度：令和２年度 補助金の名称：茅ヶ崎市民活動推進補助制度　市民活動げんき基金補助事業（スタート支援） 団体名：茅ヶ崎市 補助金の交付を受けた年度：令和３年度 補助金の名称：茅ヶ崎市民活動推進補助制度　市民活動げんき基金補助事業（ステップアップ支援） 団体名：公益財団法人 キリン福祉財団 補助金の交付を受けた年度：令和３年度 補助金の名称：令和３年度「キリン・地域のちから応援事業」 団体名：公益財団法人かながわ生き活き市民基金 補助金の交付を受けた年度：令和３年度 補助金の名称：第16期福祉たすけあい基金（通常型）

備考　１　「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

２　「補助金の状況」欄は、過去５年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

第３号様式（第７条関係）

事 業 計 画 書

実施する事業について	**今までの活動を統括した、茅ヶ崎発のウェブサイト制作** サイトターゲット：個人店やサービス事業者、CSR に関心のある企業 SDGs・まちづくりに関心のある行政・企業 2020 年から取り組んできたさまざまな事業を『スローコミュニケーションプロジェクト』の傘下に置き、ブランド化していきます。 **【 スローコミュニケーションプロジェクト 】** ① **スローコミュニケーションマガジン** ← みみとこころのポータルサイト ② **スローコミュニケーションダイアローグ** ← みみここカフェ ③ **スローコミュニケーションラボ** ← 神奈川大学共同研究 ④ **スローコミュニケーショントレーニング** ← 聴覚障害体験研修 ⑤ **スローコミュニケーションキッチン** ← チャレンジキッチン・カフェバー **大元となるサイトを作り、上記５つをコンテンツとして入れ込む形です。** ◆2020 年度スタート支援 『みみとこころのポータルサイト』を開設。 聴覚障害者やその周囲の人に焦点をあて、ロールモデルの提供を目指して発信。 ◆2021 年度ステップアップ支援 ・ダイアローグイベントである『みみここカフェ』の運用 ・ポータルサイトのコンテンツ充実 今回は、それらの事業を総括し『**スローコミュニケーションプロジェクト**』として、茅ヶ崎市のシティープロモーションに繋げていけるようサイト発信をします。さらに自立経営ができるよう、個人・企業研修のパッケージ化をし、経営基盤を作っていきます。 **『スローコミュニケーションプロジェクト』** **ゆっくり伝える。ゆっくり受けとる。** **すべての人の「伝えたい」が歓迎される社会へ。**

	① スローコミュニケーションマガジン **学生ボランティアによる SNS 発信** 言語聴覚士を目指す専門学生、地元の高校生の計４名による、Instagram を中心とした SNS 発信を支援いただきます。 例えば、那須の日常に密着しどのような困りごとがあるのかを、動画や写真で SNS 発信していくことで、若い世代にも伝えていけるようにします。 みみとこころのポータルサイト、スローコミュニケーションプロジェクトサイトをリンクやハッシュタグで認知向上・サイトアクセス増加を図っていきます。 **② スローコミュニケーションダイアローグ** **みみここカフェ（偶数月開催）** 昨年に引き続き、実施していきます。 2022 年２月で第９回目となります。毎回、ライターさんにレポートを書いていただいています。聞こえない聞こえにくい人だけではなく、LGBTQ や車椅子利用者、視覚障害者、精神障害者などの参加がありました。 さまざまなマイノリティ特性を持つ人が、適度な距離感で対話をすることで、違いを受け入れ応援し合う空気が醸成されていっています。 **③ スローコミュニケーションラボ** **雄三通りを「スローコミュニケーションストリート」に** 昨年に引き続き、実施していきます。 ４月からは、つちや酒店で指伝話を活用したお酒の説明などを通して、地域との関わりを活性化させていきます。神奈川大学の学生が雄三通りの人たちとの交流を通して、地域活性化に向けた人間工学に基づく、コミュニケーションデザインを実施していきます。 それらは動画撮影をして、記録や発信材料にしていきます。 スローコミュニケーション実行委員会（実施体制のメンバーたち）も、美容院や飲食店におけるコミュニケーション改善など、さらに展開していく予定です。

	④ スローコミュニケーショントレーニング **企業研修、講演活動、ワークショップの実施** 花王、NEC、リコー、ヤマト HC、キヤノンなどに当事者が感じることと、その周囲の同僚や上司が感じること、それぞれでアンケートを依頼＆実施中です。コミュニケーションや想いのズレを対比し分析できると考えています。特に、当事者向けアンケートはよくあるのですが、その周囲の人向けのアンケートは今まであまり実施されていませんでした。 これらを集計し分析することで、企業研修や講演活動に説得力を持たせます。 **⑤ スローコミュニケーションキッチン** **毎週月曜ランチタイムのチャレンジキッチン** 昨年度に引き続き実施していきます。 那須がホールを担当することで、聞こえないスタッフ側からみた接客改善などを検証することができます。メニューを指差しできるようにすることで、誰もが注文しやすくしています。 また、聴覚障害者は接客業に就きたくても雇用側の理解が得られないために就くことが難しいです。那須がまず体験することで、１つのロールモデルを提供することができます。 将来的に 4Hearts は、カウンセリングルーム併設・コミュニケーション支援ツールのショールームとなるような場を持ちたいと考えています。 そういった場を持った時に、聞こえない聞こえにくい学生をアルバイトとして雇用し、接客やワークショップ企画・実行を通した就職前の職場定着支援ができると思います。 那須が産業カウンセラーであるため、就職後までの一貫したメンタルサポートの仕組みを構築していけるのではないかと考えています。 （参考） 聴覚障害者にハード支援が不要ということ、法定雇用率の関係で安易な雇用がされてきました。実際にはソフト面の支援が重要なことが理解されていないため、職場定着が難しく身体障害者の中ではワーストとなっています。

	また、聴こえの困りごとに理解のあるカウンセラーが全国的にも少ないです。 聴覚障害者の食卓における QOL 向上も課題です。家庭内や職場での孤立を防ぐ方法の提案も、カフェバーという飲食の場を作ることで実施していけるのではないかと考えています。 **・ディナーテーブル症候群** 食卓を囲むとき、家庭内で一人だけ会話に入れないことによる孤立 **・職場のお昼休み** 限られた時間の中、読唇をしながらご飯を食べるのは至難の業 **・居酒屋での飲み会** 会話が理解できないが、場を壊さないよう微笑んで誤魔化す
事業の背景 について	2021 年 3 月時点では「手話特区構想」という言い方をしていましたが、「行政からの強制的な取り組み」「手話メインの取り組み」のような印象を受けてしまうため、『スローコミュニケーションプロジェクト』と呼び方を変えて発信してきました。 生まれつき重度の聴覚障害がある那須が代表となり、コワーキングスペースチガラボをはじめ、地域を巻き込みながら 4Hearts の活動をしてきました。その際、那須自身が巻き込んだ人たちに何かを頼むときに「申し訳ない」と下手に出てしまう自分に気づきました。 長年、「障害者」として生きてきたなかで、染みついてしまったものでした。 神奈川大学共同研究で、学生にヘッドフォンをつけて耳が遠い高齢者くらいのきこえを擬似体験しながら買い物をしてもらいました。商品が見つけられない学生には、店員さんに筆談で商品の場所を聞いてもらいました。何度も筆談でやり取りすることに「申し訳ない」気持ちが沸き起こり、その学生は商品を見つけることを諦めてしまいました。 別の学生は、ポイントカードを作る際に店員の説明がわからないにもかかわらず、聞き返すことを遠慮して分かったフリをしてしまいました。 小さな諦めや遠慮の積み重ねは、選択肢を狭め、夢を諦めることになってしまいます。那須のように、一緒にやろうと対等に接してきてくれた仲間たちにも下手に出てしまうようになります。 当事者のなかに潜む、「申し訳ない」「迷惑をかけたくない」「諦め」「悪目立ち

	したくない」といった感情を変えないことには、インクルーシブ社会の実現は難しいと言わざるを得ません。いくらコミュニケーション支援ツールや最先端技術があっても、使用する人の気持ちがそこにない限り、有効活用はされません。 そうするとさらに本来必要としている人たちが可視化されず、周囲の人が必要性を認識しなくなるという悪循環が起きているのではないでしょうか。あるいは、支援ツールの用意だけはしたという形だけに終始してしまっていないでしょうか。 そういった状況を変えるためには、まずは周囲の人々がスローなコミュニケーションに温かいまちづくりをすることを通して、まちに心理的安全性のある空気・風土を醸成します。そうすることによって【困っているけど言い出せない人たち】が、勇気の一歩を踏み出せるまちにする必要があります。 周囲の人が知識を得て、コミュニケーション手段の選択肢を持ち、どんな人が来ても受け入れられる心の余裕を持つことが大切です。 （当事者をバッジなどで可視化させることは、逆に周囲の人はバッジを付けないのか？という話になり、ある意味で差別となってしまいます。） 当事者と周囲の人。双方のマインドを変えていくことで、新しい価値創造と経済を生み出そうという取り組みとなります。
事業の目的や効果について	スローコミュニケーションプロジェクトを、湘南茅ヶ崎から発信します。最終的には神奈川県、全国へと広げていけたらと思います。 スローコミュニケーションによって【障害者も含めた誰ひとり取り残さない地域活性化】を目指します。 シティープロモーションに繋げていくためにも、まずは認知される必要があります。「伝える」ことやサービス改善施策をパッケージングし、市職員や市民、企業にも受講していただけるように、研修作成していきます。 市民ひとりひとりが、コミュニケーションについて改めて考える契機を作り、コミュニティのつながりを大切にできるようになります。
事業の広報について	（使用予定の媒体にチェック） ☑チラシ・ポスター　☑パンフレットなどの刊行物 ☑ホームページ　☑Facebook　☑Twitter　☑その他のＳＮＳ（Instagram　） □市の広報紙　□市の広報掲示板　□口頭にて伝達 ☑その他（タウンニュース　）

第３号様式（第７条関係）

事業の実施体制 について	総括　代表者１人 運営・手話通訳　１人 手話通訳　１人 【事業協力】 NPO 法人湘南スタイル・・・サイト作成、渉外　５人 （株）be・・・ライター、ブランディング　２人 合同会社エムシースクエア・・・研修設計　１人 （株）メディア・ケイフォルム・・・動画撮影、編集　１人 （株）オフィス結アジア・・・指伝話、アドバイザー　１人 茅ヶ崎青年会議所・・・発信支援 NPO 法人 ETIC.（2021 年度花王社会起業塾）・・・経営支援 プレンティーズ、つちや酒店、その他・・・スロコミュ導入 専門学生・高校生ボランティア・・・SNS 発信　４人

備考　「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

備考　「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

第4号様式（第7条関係）

収支予算書

収入

科　　目	金　　額	内　　訳
1 団体収入	140,649	団体活動費にて充当
2 事業収入	60,000	①みみここカフェ参加費　¥1,000×10名×6回
3 補助金収入	600,000	市民活動げんき基金補助
合　　計	800,649	

支出

科　　目	金　　額	内　　訳
謝金	60,000	①みみここカフェ手話通訳謝金¥5,000×2名×6回＝￥60,000
委託料	667,700	スローコミュニケーションプロジェクトサイト制作費用　NPO法人湘南スタイル　¥544,500 みみとこころのポータルサイト保守管理委託費用；NPOセカンドワーク協会¥13,200(年間) 動画撮影編集；㈱メディア・ケイフォルム￥110,000（年間）
旅費	48,000	ボランティア交通費　（500円×2名、1500円×2名）12ヶ月
物品費	3,939	指差しメニュー・コミュニケーションボード用 A4ラミネートフィルム100枚　¥1,341 A3ラミネートフィルム100枚　¥2,598
印刷製本費	4,810	★フライヤー印刷A4サイズ、光沢紙、両面カラー；プリントパック2000枚￥4,810
通信運搬費	16,200	サーバー費用（1年間）；¥16,200
合　　計	800,649	

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね1年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考1　示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
　　また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考2　内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

まちのコミュニケーションに、「スロー」を。

「店員さんに伝えたいことがわかってもらえず、長蛇の列ができて焦ってしまう」
「オーダーのときに筆談をお願いすることも、“申し訳ない”と思ってしまう」
「細かな注文は伝わらないと諦めて、いつも“わかったふり”をしてしまう」

スローコミュニケーション・プロジェクトは、聴覚障害者の方のこんな声から始まりました。

想像力を膨らませてみると、このような困りごとは、聴覚障害に限らず、耳の遠くなったお年寄りや、精神的ストレスから対話に困難を抱える人、外国語を話す方、恥ずかしがり屋の子どもにだって、共通していることが見えてきます。

私たちは考えました。

「どんな人でもためらうことなく、お店に足を踏み入れるために必要なものはなんだろう？」

たどり着いたひとつの答えが、「スローな心」。

たとえ手話ができなくても、英語が話せなくても、お店の人やお客さんが、あせらず、いそがず、ゆっくりと、目の前の人の“伝えたい”に真摯に耳を傾けてくれれば、「ためらい」や「あきらめ」の気持ちは、きっと消えていく。

まちの人の心にも小さなゆとりが生まれて、人々が健やかにつながり、誰もがお互いの表現を、存在そのものを、祝福しあえるようになっていく。

手話、筆談、言語、指差しといったあらゆるコミュニケーション手段を歓迎する包容力あふれる社会・文化を育むため、2021年5月、神奈川県茅ヶ崎市から小さな種まきをはじめます。

温かいコミュニケーションの芽が育まれることを願って。

発起人　一般社団法人4Hearts　代表　那須かおり

実態

Four Hearts

補聴器を必要とする難聴者　推計約1,430万人

全人口の15.2%　日本補聴器工業会（2015年）

加齢性難聴

60歳代前半	5～10人に1人
60歳代後半	3人に1人
75歳以上	7割以上

内田 育恵他　全国高齢難聴者数推計と 10 年後の年齢別難聴発症率
―老化に関する長期縦断疫学研究（NILS-LSA）より　2012

難聴者の補聴器使用率（難聴の自覚がある人のうち、補聴器を使用している人の割合）は13.5%と他国に比べ著しく低い　※出展　社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会「補聴器を取り巻く現状」

実態2

Four Hearts

茅ヶ崎市の人口　約23万9300人

補聴器を必要とする難聴者の人数

約23万9300人 × 15.2% = **36,373人**

コミュニケーションに課題を抱える人が多い！

実態の本質　～理解不足への悪循環～

Four Hearts

サイレントマジョリティ

車椅子や白杖など「見た目でわかる」のに比べ、聴覚障害は
「見た目でわからない」ので世間に溶け込んでしまえる人が多数いる。
聞こえないことによる障害特性や困りごとは可視化されにくい。

**でも実はそれぞれに困りごとを抱えていて、
迷惑をかけたくない、目立ちたくないから
言い出さない・出せない。**

だったら…言い出しやすいまちづくりから！

第１号様式（第７条関係）

市民活動推進補助事業企画書

2022　年　１月１２日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

提出者　名称　　マザーアース茅ヶ崎

代表者氏名　　山田秀砂

次のとおり事業を企画したので、関係書類を添えて提出します。

団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	9　　地域安全事業 12　　男女共同参画社会の形成の促進を図る事業
事業の名称	心の詰まりを取ろう　　怒りを知る「アンガーネジメント講座」
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	2022　年　4　月　1　日から　2023　年　3　月　31　日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考　１　「事業の区分」欄には、第５条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。

２　この企画書には、次の書類を添付してください。

(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの

(2) 構成員の名簿

(3) その他市長が必要と認める書類

第２号様式（第７条関係）

市民活動団体概要書

名称	マザーアース茅ヶ崎
連絡先	
設立年月日	2018　　年　　7月　11　日
構成員数	9（立ち上げ時）　人（うち役員　2　人） （マザーアース規約に記載が有るように各人の意志を尊重するエンゲージメント方式です）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者　　9　　人 その他　　サポート人員　随時参加　　人
情報の公開の方法	☑　ホームページへの掲載 ☑　その他の方法（サポートセンターガイドブック・フェイスブック　　）
設立の経緯	地域で活動（自治会・推進協・社協・市民団体広域避難場所を守る会など）をして行く中で「何かが足りないよね？」と感じていた女性達が集まり、話し合った結果「愛が足りない」という結論に達しました。 人と人との関わり合いの中で互いを思いやり・認めあう・優しく温かい繋がりが、今後向えるであろう自然災害リスクや社会的リスクを乗り切るのに、必要な力なのではないのか？　私達は「母なる大地のように全てを包み込み愛し繋がる」そんな思いで動いてみよう！　という経緯で「マザーアース茅ヶ崎」は設立されました。
活動の目的	被災者に「悲しみと後悔の中で生きて欲しくない」だから防災・減災に取り組む事の必要性を知って欲しい！　それが目的でした。 マザーアースが最初に取り組んだ「防災ラブアクション」は東日本大震災で 74 名の児童と 11 名の教師が亡くなった石巻の大川小学校が切掛けでした、石巻市の大川小学校と茅ヶ崎市の海岸線に有る東海岸小学校・第一中学校が重なったからです。 もう一つは、茅ヶ崎市最大の問題である地震災害後の同時多発延焼火災の現状の恐怖を知った事でした。 会場に来ていただけた方々だけでなく少しでも多くの市民に周知自分事と捉えていただけるのかが今でも大きな困難であり目的でも在ります。

主な活動内容	: 茅ヶ崎市で災害が起こったときの各地域の被害状況の周知（HP掲載・イベント開催・まちぢから広報など） :家庭内での「命を守る減災・防災対策のやり方」周知イベントの開催 :茅ヶ崎市の災害時危険度マップを作成した東京大学加藤孝明教授をお招きし、自治会・自主防災組織・教育機関代表者・福祉関係・一般など多く方に参加いただき、マザーアース茅ヶ崎「防災ラブアクション」を開催 :茅ヶ崎市防災対策課と協同で震災後の液状化現象に焦点を当て、子連れ避難時の危険認識と避難について「ベビーバギーサミット」を開催。 避難時に必要な「おぶい紐のやり方」・「液状化とは」・「乳幼児の救急救命」の3項目の講座を開催
年間決算額	０円（コロナ禍により活動停止）
補助金の状況	団体名： 補助金の交付を受けた年度： 補助金の名称：

備考　１　「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

２　「補助金の状況」欄は、過去５年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事 業 計 画 書

実施する事業について	2022年2月「心の詰まりを取ろうよ」を終了後、様子を見極め 「アンガーマネジメント」を中心に「心理的安全性の確保」の意味を広げて行きたいと考えています。 日程：　月1回 場所：　各地域のコミュニテイーセンターやカフェ・ご自宅など 対象：　市民 人数：　1回　3~20名（開催場所の広さによる） 費用：　300円　資料作成 感染症対策：　・地域のコミセン規則に沿う ・独自には名簿の作成・マスクの着用・フェイスシールド・アルコール手指消毒など ：4月～から　「ステップファミリー子連れ再婚者」って不安？ 経験者から聞く、多様なケースと本音　皆が幸せになるには？ 「心理的安全性とアンガーマネージメント」 ：5月　「DVで離婚を決意するタイミング」経験者から本音を聞こう 改善するDVと市内DVの違いは？ ：6月　「避難所運営が鍵？」災害関連死とは？ コミュニテーの喪失を防ぐには？　事前復興の役割 ：7月「心理的安全性とは？」社会を変える力を持つ？ 有識者を迎えてイベントを考えています :8月　以降はもう一度同じテーマをアプローチを変えて確かなフィードバックをしていただき内容を身につけていただければと考えています 「アンガーマネジメント」と「心理的安全性の確保」は車の両輪のようであり「必要の無い不安や恐れを持たず安心して進んで欲しい」という私達の思いの伝わり方や皆様の要望に応えながらフレキシブルな対応を考えております。

事業の背景 について	防災において茅ヶ崎市の危険な現状を知って貰う周知活動の中、東日本大震災の被災地石巻市大川小学校へ行って見て聞いて感じ確信したのは「もし保護者・学校・教育委員会全てが「心理的安全性を持ち繋がって」いたら、この悲劇は起きなかったのでは？　というやりきれない思いと立場を超えた「信頼関係を築く重要さ困難さ」でした。 遺族・教育委員会・市防危機管理課のお話を伺った結論であり、このポイントを改善出来れば防災・減災に大きな効果を生むと今も確信しております。 今日に至る間に、被災体験・現地の見学体験のない皆さんに真実を伝えて「自分事として捉えてもらう事の難しさ」の壁に突き当たり、住民により近い地域のまちぢから協議会防災部会へ加入「避難所開設マニュアルの作成」に携われた事で、なぜ皆が一歩前進して参加しないのか・出来ないのかの現状を認識することができました。 一言で表わすとすればそれは「多様性を認めあう」事の必要性です。 例えば、避難所生活での大きな問題である「人間関係（心理的安全性）」の重要さを知り、発災以前に「アンガーマネジメント」を皆様に周知出来れば、より良い「防災組織の再構築と避難生活環境の提供」が可能になりえます。　以前より、茅ヶ崎市男女共同参画推進プラン委員会において多様性を活かした「女性の視点を防災に活かす事」も提案し続けてきてはいましたが地縁組織の中で理解して貰う迄には進みませんでした。 やはり繋がりの基礎となる事が何かを周知するには、足下から固めて行かなければとの考えに至りました。 以上が新事業「アンガーマネージメント」を起こす背景です。
事業の目的や効果 について	しかし多様性を活かす必要が有るのは災害だけでなく身近な「虐め・虐待・孤独死」などの福祉関係も同様と考えます。 災害の怖さや準備の大切さだけを訴えても市民は動いてくれませんし、関係者でなければ虐めの実態を知っていても動いてくれません。 防災・福祉などすべての組織の構築の前に必要なのは１人１人の「心理的安全性から生まれる人と人の信頼であり繋がり」だと気がついたのです。　　意見が会わなければ反目しあうような事ではそこから何も進まないし生まれないという事です。 今、私達の事業の中で大切にしたいのが「心理的安全性の確保」だと考えています、誰でもが安心して質問や意見が言えて、お互いがより深い理解を持ち将来のビジョンを共有し、参加者と開催者が一緒に道を見つけていかれるような雰囲気と思考を持てる事を心掛けたいと思っています。 それは多様性を認め合うという実体験効果も期待できます。

	アンガーマネジメントはあらゆる関係性の中で皆が知っておくべき多様性を認める入り口であり重要なポイントになります。 物事の全ては繋がっていているのです「一元的・一方的な見方や考え方だけでは、真実は見えてこないかも知れない」と気付いていただけるだけでもこの事業の意味があると考えております。 茅ヶ崎市においては「方向性を決める場」に女性が参加出来ていないというのが現実であり、それは女性の心理的安全性が確保されにくいと言う事でもあるのではないでしょうか。 社会生活の中にある怒り・性差別による怒り・家庭生活の中の怒りなどを「アンガーマネジメントによる後悔しない怒り方・伝え方」のメソッドを知って活用いただく事は、私達の大きな目標の一つです。 「1 人 1 人が自分の言葉に責任を持つ事で怒りの連鎖を止める事が出来る」という事を多くの人に広めて、その事が「心理的安全性を確保する上で必要不可欠」であり、その効果はあらゆる組織において実証されております。 今後は「心理的安全性を確保した上に成り立つあらゆる分野の多様性の活躍を最終目的」に努力して行きたいと考えています。
事業の広報 について	（使用予定の媒体にチェック） ☑チラシ・ポスター　□パンフレットなどの刊行物 ☑ホームページ　☑Facebook　□Twitter　□その他のＳＮＳ（　　） ☑市の広報紙　☑市の広報掲示板　□頭にて伝達 ☑その他（まちぢから協議会回覧板　　） 紙媒体を中心に周知することを考えています。 ・チラシやポスターの配架を考えているのは、公民館（５館×２０部ずつ)、コミュニティーセンター（１１館×１０部ずつ)、ちがさき市民活動サポートセンター（５０部）です。 ・チラシは市の広報掲示版にも掲載を依頼します（１４６箇所)。 ・６月、７月の回については、市広報紙への掲載を依頼します。また、８月以降も継続参加の意志がある方のうち、希望される方には、ダイレクトメールを送って継続を促します。

事業の実施体制 について	総括代表者　　マザーアース茅ヶ崎 会計　　１名 広報　　チラシ・パンフレット作成・配布　　４名 講師・ファシリテーター　　２名（茅ヶ崎市市民講師届済み） ：一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 アンガーマネージメント・ファシリテーター認定 2035 期 ：特定非営利活動法人　日本プロカウンセリング協会 ２級カウンセラー　登録番号 645001 ：特定非営利活動法人　日本管理士機構 自然災害　危機管理士２級認定　No　210927 【協力者】 この企画は男女共同参画推進センター認定３団体の共同企画となっており、マザーアース茅ヶ崎を中心に多様性を重視して各得意分野において携わってきた事柄を入れ込み内容充実のためランダムに協力して行く事となります。 今後も取り上げる内容により、茅ヶ崎市市民講師の方々にも講演協力いただき地域に根付いた地域住民中心のイベントにしたいと考えています。

備考　「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

第4号様式（第7条関係）

収支予算書

収入

科　　目	金　　額	内　　訳
団体収入	981	「マザーアース茅ヶ崎」会費より
事業収入	60,000	参加費　300×200人
補助金収入	190,000	市民活動げんき基金補助
合　　計	250,981	

支出

科　　目	金　　額	内　　訳
物品費	152,642	ビデオカメラ　60,000円 小型プロジェクター　58,545円 プロジェクター台座　3,599円 スクリーン　8,589円 ピンマイク　4,277円 小冊子用ｶﾗｰｺﾋﾟｰ用紙(500枚入）　2パック×1,093円＝2,186円 封筒（50枚入）　4パック×671円＝2,684円 ﾌﾟﾘﾝﾀｰｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ　2パック×6,381円＝12,762円
教材費	40,000	A4　4頁×50円(ｶﾗｰｺﾋﾟｰ)×200部＝40,000円
感染予防対策費	16,304	手指消毒用アルコール　3本×990円＝2,970円 非接触型体温計　1個×9,900円＝9,900円 不織布マスク　2箱×877円＝1,754円 ﾌｪｲｽｼｰﾙﾄﾞ（ｽﾀｯﾌ用）　5枚入　1,680円
印刷費	25,235	チラシ（ネット印刷）　A4サイズ1000枚　5,058円 コミセン用ポスター(ネット印刷）　A3　20枚　10,639円 掲示板用ポスター（ネット印刷）　A4　200枚　2,490円 ★団体パンフレット（ネット印刷）　A4三つ折り1000枚　7,048円
通信・運搬費	16,800	手書きお礼状、次回案内発送　切手84円×200人＝16,800円
合　　計	250,981	

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね１年以上）使用、保全できるものの内、1万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考１　示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
　　また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。

備考２　内訳のうち、自団体のPRに係る経費については頭に★を付けてください。

物品購入理由書

1	物品名	見積金額	使用頻度
	ビデオカメラ パナソニックHC-W590MS-W	60,000	月1回
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	防災関係では特に必要　その場所の危険性などは、映像で見せることが重要 既にHPに全広域避難場所のビデオを掲載済み		団体所有し、事業の実施の祭に継続使用 月1回～以上
2	物品名	見積金額	使用頻度
	小型プロジェクター　PF50KS LGポータブルプロジェクター	58,545	月1回
	使用目的及び事業における必要性		事業終了後の取扱い
	アンガーマネージメント講座でプロジェクター設備会場を借りられるとは限らず今までの経験上、最小人数イベントの場合も使い慣れた機材が必要です。　自分達の勉強会やリハーサルにも必要不可欠		団体所有し、事業の実施の祭に継続使用 月1回～5回

マザーアース茅ヶ崎の発足主旨と今後の歩み

2018 年年 8 月 8 日　発足
立ち上げ発起人　　山田　秀砂

＜活動目的･愛を持って事にあたるべし＞

現状ではあまり活かされているとはいえないすべての女性がもつ特性･個性を活かす場として、互いの人権･人格を尊び温かく大らかな人間関係のなかで社会参加をする集い。
カテゴリー別に問題を掘り下げ、男女を問わず参加者すべての協力の下、問題の改善に愛を持って力を尽くす事とする

＜活動方法＞

入退会という形式は取らず、参加型とする。
個人の考え方を尊重するには、従来のように会議の多数決により事業の方向性を一つに決めて皆が従わなければならないという方法には無理があるとの認識に至り、誰でもが事業提案可能であり、その事業の賛同者だけが携わるという「エンゲージメント」を最大に活かせる参加方式としました

＜活動内容実績･最初の事業として防災を選択＞

2018 年 8 月	湘南みかんサイダーを飲みながら防災を考えよう
9 月 6 日	大川小学校の悲劇と釜石の奇跡を考える
9 月 16 日	防災 LOVE　ACTION　皆でつくろう！話そう！新しい防災を考えよう
11 月 19 日	女性目線での茅ヶ崎市の全広域避難場所の検証　スタート
12 月	茅ヶ崎市全部の広域避難場所の検証終了予定
12 月 5 日	茅ヶ崎老人クラブ連合会にて「災害情報石碑アンケート」の配布
2019 年度予定	2 月「災害情報石碑アンケート」回収後、他情報と合わせ報告作成
2月 24 日	防災 LOVE ACTION -2　ベビーバギーサミット　開催予定
4 月上旬	「茅ヶ崎防災石碑アンケート」 発表予定
5月～	地縁団体を活かした「自助･共助･近助」を考える防災と組織

＜事業計画･次の事業として「組織のあり方」を選択＞

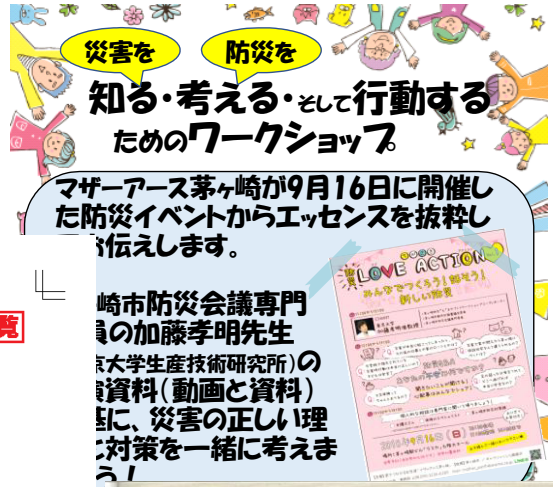
2019 年度～　あなたの組織のボードメンバーに女性はいますか？「個人の人権と組織」
身近な「自治会組織を考える」　「エンゲージメントって何？なぜ大切なのか･･･」
個人の人権と能力を最大限に活かす人と人との繋がり方･･･シンポジウム開催予定

私達の活動は防災事業のみで終わらせるのではなく、次世代へつないでいかれるような道筋を構築して行きたいと考えております。

2018 年 12 月 9 日　　記

2018年8月からの私達の歩み

8月
8日 【チガラボLocal】湘南みかんサイダーを飲みながら考える、地域のくらしの防災 byマザーアース茅ヶ崎



第１号様式（第７条関係）

市民活動推進補助事業企画書

2022　年　1　月11　日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地
提出者　名称　　湘南Liebe
代表者氏名　　三輪マリ子

団体の概要	別添市民活動団体概要書のとおり
事業の区分	⑥学術・文化・芸術またはスポーツの復興を図る事業 ⑬子どもの健全育成を図る事業
事業の名称	赤ちゃんとママのためのコンサート ～こどもから大人まで楽しめるコンサート～
事業の概要	別添事業計画書のとおり
実施予定期間	令和４　年　4　月　1　日から　　令和５　年　3　月　31　日まで
事業経費の配分及び経費の使用方法	別添収支予算書のとおり

備考　１　「事業の区分」欄には、第５条各号に掲げる事業のうち該当するものを記入してください。
　　２　この企画書には、次の書類を添付してください。
　　(1) 定款又は規約、会則その他これらに準ずるもの
　　(2) 構成員の名簿
(3) その他市長が必要と認める書類

赤ちゃんとママのためのコンサート第２号様式（第７条関係）

市民活動団体概要書

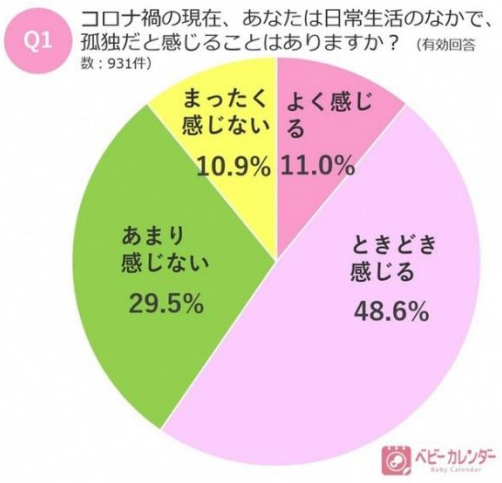
名称	赤ちゃんとママのためのコンサート ～こどもから大人まで楽しめるコンサート～
連絡先	
設立年月日	2005　年　4　月　1　日
構成員数	9　人（うち役員　3　　人）
	市内在住（在勤及び在学を含む。）者　　6　　人 その他　　3　　人
情報の公開の方法	☑　ホームページへの掲載 URL　http://geschenk1224.wixsite.com/mysite ☑　その他の方法（インスタ・フェイスブック・茅ヶ崎市民活動ガイドブックに掲載）
設立の経緯	初めてしょうがいをお持ちのお子様の団体に演奏を依頼されて、子どもたちの反応・身体全体で音楽を楽しんでいる姿に感動をし、生演奏の素晴らしさをあらためて実感した。このことをきっかけに、市内で一緒に活動する音楽家に声をかけ活動が始まった。
活動の目的	生の音楽演奏を提供すること。 生演奏から出る周波数には、ＣＤやテレビからは得にくい、心地よさを感じたり、リラックスしたりなどの脳に優しい周波が発せられる結果が専門家から出されている。 ドレスアップした演奏家の奏でる生の音楽を聴き、普段の生活から離れた非日常空間で、楽しさ、気分転換、癒し、夢、希望を感じてもらう事を目的とする。
主な活動内容	高齢者施設・児童施設・養護施設での訪問演奏・ 保育園・小学校での演奏・ロビーコンサートなど様々なイベント演奏 チャリティコンサート（年に1回）を行い、収益の一部を寄付している。 （ユニセフ・日本盲導犬協会・茅ヶ崎市社会福祉協議会・東日本大震災・熊本震災の見舞金など）
年間決算額	0　　円　（活動中止のため）
補助金の状況	団体名：茅ケ崎市 補助金の交付を受けた年度：2018年・2019年・2020年 補助金の名称：茅ヶ崎市民活動げんき基金・茅ヶ崎湘南RC「えにしだ基金」

備考　１　「情報の公開の方法」欄は、該当する□にレ印を記入してください。

２　「補助金の状況」欄は、過去５年以内に茅ヶ崎市その他の団体から補助金を受けている場合に、団体名、補助金の交付を受けた年度及び補助金の名称を記入してください。

事 業 計 画 書

実施する事業について	タイトル：赤ちゃんとママのためのコンサート ～こどもから大人まで楽しめるコンサート～ 対象：赤ちゃん（0 歳から 3 歳）とお母様を中心にどなたでも参加可 場所と実施日時：令和 4 年 7 月予定 令和 4 年 10 月予定 令和 4 年 12 月予定 時間：10 時 30 分から 11 時 40 分 会場：茅ヶ崎市民文化会館練習室 1（ミニホール） 茅ヶ崎市民文化会館小ホール 入場者： 7 月 定員 64 名（ミニホール） 10 月 定員 64 名（ミニホール） 12 月 定員 160 名（小ホール） 費用 ： 大人 1 名 1000 円 （0～3 歳児 1 名無料） ＊付き添いこども 1 名 500 円（4 歳～小学生まで） 内容：第 1 部 生演奏（30 分） うた 2 名・ピアノ 1 名・楽器 1 名（ヴァイオリン・クラリネットなど） 3～4 人編成で行う。 クラシック・童謡・唱歌・ディズニーの曲・ジブリの曲・手遊び歌（アイアイ・大きなくりの木の下で・・など） プロジェクターを使って、お話と音楽「はらぺこあおあむし」 「てぶくろを買いに」「14 匹のあさごはん」のいずれかを行う。 第 2 部 助産師または看護師さんのお話と質疑応答（30 分） 離乳食・子供の季節の過ごし方（熱中症対策・日焼け止め）イヤイヤ期のしかり方・トイレトレーニングの時期など テーマを中心に個々の質問に答える。 質問時間はみなさんで共有する。 個人的に質問のある方は、終了後助産師さんの時間の許す限り受け付けます。 おむつ替えのコーナー・授乳室を完備・床はマットを敷いて自由に動ける。 **新型コロナウイルス感染対策**として、各回会場の決められた定員で行う。 1 部と 2 部の間に換気を行う。受付にはパーテーションを配置・消毒薬の設置をする。 来場者は、マスクの着用・手指のアルコール消毒の協力をお願いする。 忘れた方には、**マスクを提供**する。

事業の背景 について	1．しょうがいを持つ こどもたちの前で演奏し、生演奏の大切さを感じた。 2．ネット社会の昨今、新米ママの子育ての悩みをネットで検索している状況を知り、孤立を感じているママたちに手を差し伸べたい。助産師・看護師さんの経験による情報を提供したい。 3．音楽と助産師・看護師のお話という企画がより参加しやすい。 4．ベネッセ総合教育の調査で、0～2 歳の子育てをする母親の約 4 人に 1 人が、子育ての悩みを相談できる人がいないと答えており「孤育て」の様相が強くなっていることがうかがえるそうです。 体や心をほぐし、みんなおんなじなんだという孤立感からの開放、つながり、安心感などの場が必要である。 5．最近よく耳にする、赤ちゃん・小さなお子様などへの幼児虐待問題も、育児を一人で抱え込んでしまうことから生まれているのかもしれないと考えた。 6．赤ちゃんをかかえるママに向けて、地域社会における希望される活動のひとつとして、「赤ちゃんとママのコンサート」という気軽に参加できるコンサートに出向くことによって、音楽を鑑賞する共有の空間の中、人と人とのつながり、ネットワークが作られる。 7．助産師・看護師によるお話の中で、悩みを聞いてもらい、相談する事で、赤ちゃんを育てる母親が、身体的にも精神的にもたくましく、楽しく育児に向き合えるようになり、すべてのこどもたちは、「みんなおんなじ」という事に気づくことが出来て、ママたちの不安を取り除きます。 8．子育ての不安要素として、核家族化の進行や、地域のつながりの希薄化など、子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、子育てが「孤育て」化し、悩みを誰にも相談できず、一人で問題を抱え込んでしまう人もいる。子育ての孤立感やストレスが増幅する前に支援や手助けを受けられるよう、地域全体で子供を育む環境整備・機運醸成が不可欠である。 コロナ禍でより一層、ママたちの孤立化が取り上げられています。 **参考資料**：NHK 首都圏ナビから 子育て中の親子を、絶対に孤立させないためにどのような形で支援を継続させていくか。感染者が再び増加するなか、社会全体で考えていくべきだと感じています。 

	９．リピーターの参加者が増えてきた中、2020 年 2 月からのコロナウイルス蔓延の為に**演奏活動がすべて中止**となりました。 コロナ禍でステイホームの中、家族の絆が深まったという声と同時に、 家族以外の人との接触が怖くて、感染への不安とわが子の成長を心配しています。 10.　コロナ禍の子育てで心配なことのトップは「家族以外の人（お友達を含む）とのコミュニケーション（６１％）です。（添付資料２参照） 孤立を感じるママたちのために、同じ年頃のお子さまとママたちにこのコンサートは必要だと考えています。 万全な感染防止対策をとり、安心して来場して頂けるように配慮して定期的に行いたいと考えています。
事業の目的や効果について	＊**生の演奏をこどもと一緒に近くで聞きたいと言う要望に**応えて、湘南 Liebe のコンセプトである**生演奏を提供**することで、お子様の**情操教育の一環**を担い、ドレスで演奏することにより視覚的にも、日常と異なる雰囲気の中、**癒しと楽しい気持ちを生み出す効果**を生み出す。 ＊相談する家族・友人などが周りにいなく、子育てに不安を抱く新米ママと赤ちゃんが一緒に音楽を聴き、会場にいらした同じ境遇のママとの**情報交換・友達作りの場を提供**することにより、連絡先を交換したり、次回のコンサートで再会して、より親交を深めたりできるようになる。 ＊開催の都度アンケートを取り、内容の改善をしながら、ママたちの要望に近づけるように努力していくことによって、ママたちの不安を取り除くことができる。 ＊赤ちゃんとママのためのコンサート・・・0 歳児から 3 歳児を対象にした内容になっているが、お子様から高齢者まで、どなたでも来場できますので、世代の交流も生まれる。 2022 年からはこどもから大人まで楽しめるコンサートという明確な副題にする。 ＊子どもたちの成長過程は違う時もあるけれど、コンサートの参加により一緒に歌ったり、自由に動き回って遊んでいる様子を見ることが出来て、ママたちの顔から笑みがあふれてくる効果が生まれます。 ＊クラシックや大好きなディズニー・ジブリの曲のほか、ママに歌い継いで欲しい子守歌・童謡唱歌（季節の歌）などをプログラムに入れることで、お家に帰ってからもお子様と一緒に歌うことが出来る。 ＊誕生月のお子様には、コンサートの中で、お誕生日の歌を歌いお名前をお呼びします。皆さんにお祝いしてもらえるのでとても喜ばれてる。 ＊少人数で回数を行う事、継続していくことが、一人でも多くの**新米ママの心の支え**になっていくと考える。（コロナ禍の現在、人数制限や換気などの必要性が出ることも考え小ホールでの開催も考慮） ＊新規**赤ちゃんとママの参加を増やし**、助産師さんと親しくなる事で、外に出る楽しみと子育てに自信がつくと考える。

	＊コロナ禍での赤ちゃんとママが安心して出かけられる場所のひとつとして提供したい。
事業の広報について	（使用予定の媒体にチェック） ☑チラシ・ポスター　□パンフレットなどの刊行物 ☑ホームページ　☑Facebook　□Twitter　☑その他のＳＮＳ（　Instagram　） ☑市の広報紙　☑市の広報掲示板　☑ 口頭にて伝達 ☑その他（　店舗に掲載・情報誌に掲載・幼稚園・保育園・小児科・産婦人科に配布　） 広報：　チラシ　1000 枚×3 回（7 月・10 月・12 月） 広報掲示板 146 枚・公民館 5 か所・図書館・コミセン 11 か所・青少年会館 1 か所・子育て支援センター5 か所・茅ヶ崎こどもセンター・美術館・市役所・保健所配布。幼稚園・保育園・小児科・産科など 80 か所へ郵送する。 商店の協力・ミニコミ誌掲載。コンサートに次回のチラシを配布。
事業の実施体制について	代表　三輪：　赤ちゃんとママのためのコンサートの企画・提案 例会により、会員に協力を求める 予算書の作成・宣伝活動 1 名：　チラシ・プログラム作成・印刷手配 1 名：　実施会場の手配 1 名：　外部演奏者の手配 1 名：　外部ボランティアとの連絡調整 協力者：助産師さん 2 名 収支予算書の賃金で記載している項目については、アルバイトを雇用 2～3 名 《タイムスケジュール》 令和 4 年　会場の手配 5 月　曲目検討・チラシ発注 チラシ作成 6 月　チラシ配布・発送・アンケート作成・チケット作成 （広報掲示板・タウンニュース・ミニコミ誌・幼稚園・保育園に郵送） 楽譜・資料の手配・合わせ練習（2 回） 7 月　リハーサル・本番 アンケート集計（7 月のコンサート分） 8 月　10 月のチラシ作成・印刷・配布・発送 （広報掲示板・タウンニュース・ミニコミ誌・幼稚園・保育園に郵送） 9 月　10 月プログラム作成・合わせ練習（2 回） 12 月コンサートのチラシ作成・印刷・配布・発送 （広報掲示板・タウンニュース・ミニコミ誌・幼稚園・保育園に郵送・茅ケ崎市広報紙に掲載依頼） 10 月　リハーサル・本番 楽譜・資料の手配（12 月）

	11 月　　アンケート集計（10 月の分） 12 月コンサートプログラム作成 合わせ練習（2 回） 12 月　　リハーサル・本番 令和５年 1 月　　アンケート集計（12 月の分） 収支会計報告作成

備考　「事業の実施体制について」欄は、市民活動ステップアップ支援補助金の交付を受けようとする団体は必ず記入してください。市民活動スタート支援補助金の交付を受けようとする団体は任意で記入してください。

第４号様式（第７条関係）

収支予算書

収入

科　　目	金　　額（円）	内　　訳
会費	9,252	2021年度年会費
事業収入	144,000	参加者負担費用 1000円×32名×２回 1000円×80名×1回 ＊定員64名・160名として算出 赤ちゃんも人数に含む
補助金収入	323,000	市民活動げんき基金補助
合計	476,252	

支出

科　　目	金　　額（円）	内　　訳
賃金（会員外）	51,000	チラシ発送（配布含む） 送り状作業 1h1000×3時間×2名×3回 =18000円 受付・会場設営・搬入・搬出 １ｈ1000×4時間×2名×3回 =24000円 ステマネ・記録・会場設営 1ｈ1000×3時間×1人×3回 =9000円
謝金	98,400	出演者：外部出演者 20000円×1名×3回 60000円 （合わせ・リハーサル・本番・交通費含む） 助産師：1000円×2名×3回 6000円 照明1名 32400円
旅費	33,440	会員1名 バス（松が丘2丁目～茅ヶ崎駅） 190×往復×12回=4560円 会員1名 バス（市立病院～茅ヶ崎駅） 200×往復×12回=4800円

		会員1名 バス（関東航空前～善行駅） 250×往復×12回=6000円 電車（善行駅～藤沢駅） 180×往復×12回=4320円 電車（藤沢駅～茅ヶ崎駅） 200×往復×12回=4800円 スタッフ1名 バス（茶屋町～茅ヶ崎駅） 180円×往復×8回=2880円 バス（茅ヶ崎～松が丘1丁目） 190円×往復×7回=2660円 スタッフ1名 バス（浜竹～松が丘1丁目） 190×往復×6回=2280円 電車（辻堂～茅ヶ崎駅） 190円×往復×3回=1140円
物品費	33,372	角2封筒（テープ付き）300枚 5166円 長3封筒 150枚 1473円 A4コピー紙 500枚 604円 （送り状・原稿作成・アンケートなど使用） 楽譜 2000円 インク代 6000円 宛名シール 2884円 クリヤホルダー 300枚 2568円 黒マジック・のり・クリップ 500円 マスク （個包） 100枚 1699円 消毒液（手指）3本 469円×3 1407円 消毒液（物品）2本 530×2 1060円 三洋透明パーテーション （受付用） 8011円
印刷製本費	53,000	チラシA4 3000部 30000円 チケット 200枚 10000円 アンケート 200枚 2000円 ポスター 3000×3枚 9000円 データー作成

		（絵本からデーターをUSBに取り込む）　2000円
通信運搬費	34,860	チラシ送付 140円×80か所×3回=33600円 （幼稚園・保育園・他） 楽譜送付 140×3名×3回=1260円 （出演者）
使用料・賃借料	172,180	＊練習会場 茅ヶ崎市民文化会館練習室１ ピアノ他 5650円×2回×3回 33900円 ＊リハーサル 練習室１+ピアノ他 5650円×2回 11300円 ＊本番 練習室１+ピアノ他 5650×2回 11300円 リハーサル 茅ヶ崎市民文化会館小ホール 20510円 ピアノ・その他 10280円 本番 茅ヶ崎市民文化会館小ホール 46730円 ピアノ・その他 18160円 著作権使用料 20000円
合計	476,252	

＊物品購入に際し、品質形状が変わることなく、比較的長期間（概ね１年以上）使用、保全できるものの内、1 万円以上のものを購入する場合は、見積書に相当する資料と、購入する物品の使用目的や必要性等を記載した書類を提出してください。

備考１　示された支出科目は、必要に応じて削除もしくは名称を修正することができます。
　　また、示された支出科目以外に必要な科目があれば、追加することができます。
備考２　内訳のうち、自団体のＰＲに係る経費については頭に★を付けてください。

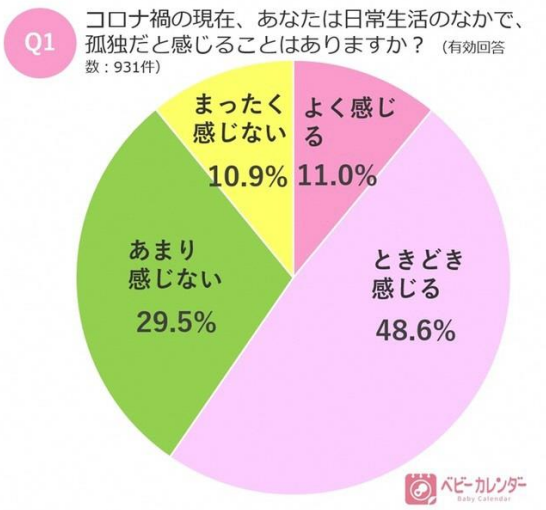
資料１：　株式会社ベビーカレンダーから　　2021 年 9 月 6 日

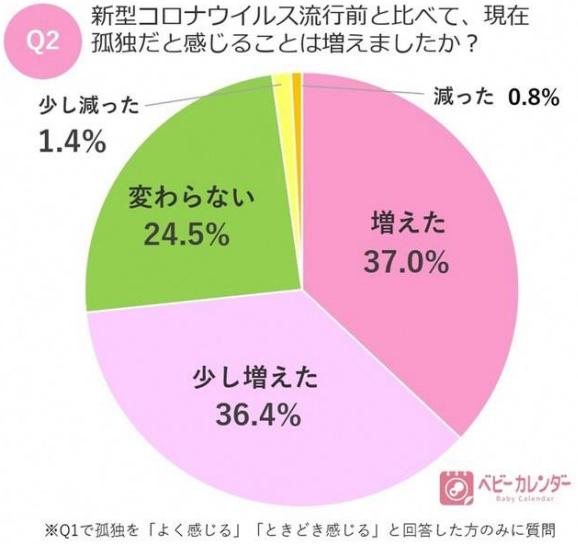
ママたちの約 6 割が「孤独を感じる」、コロナ禍が大きく影響

現在妊娠中または育児中のベビーカレンダー会員のママ 931 名に「コロナ禍の現在、あなたは日常生活のなかで、孤独だと感じることはありますか？」と質問したところ、

「よく感じる」11.0%、「ときどき感じる」48.6%と、**約 6 割のママが孤独を感じていると回答**しました（Q1）。

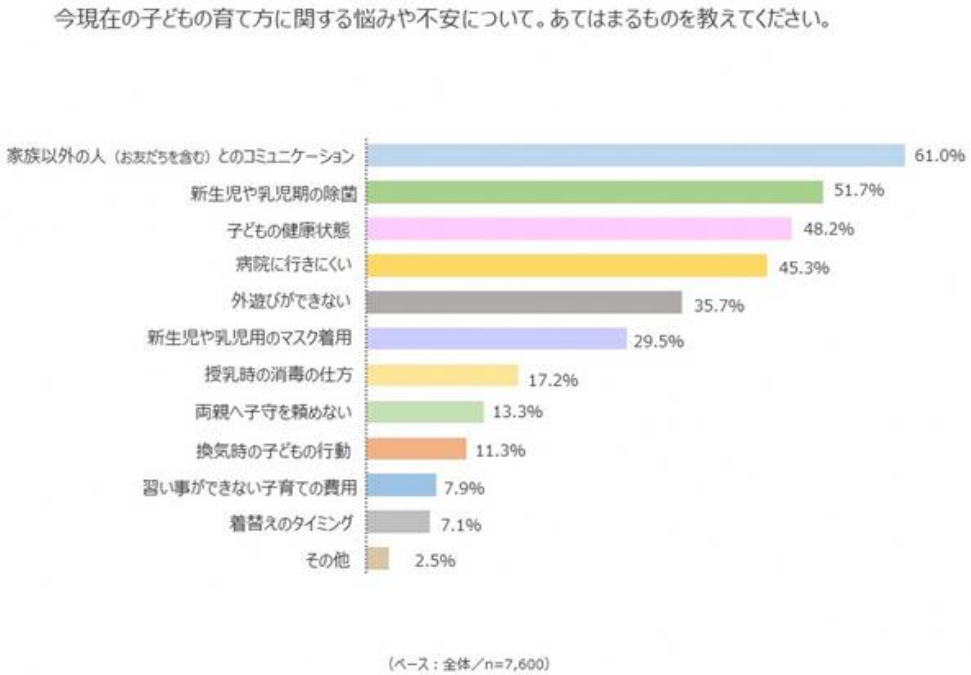
Q1 で「孤独を感じる」と回答したママのうち、新型コロナウイルス流行前と比べて、**現在孤独を感じることが増えたママは 7 割超、孤独感はコロナ禍が影響していると回答したママは 8 割を超え**、ママたちの孤独感に大きく影響していることがわかりました（Q2、）



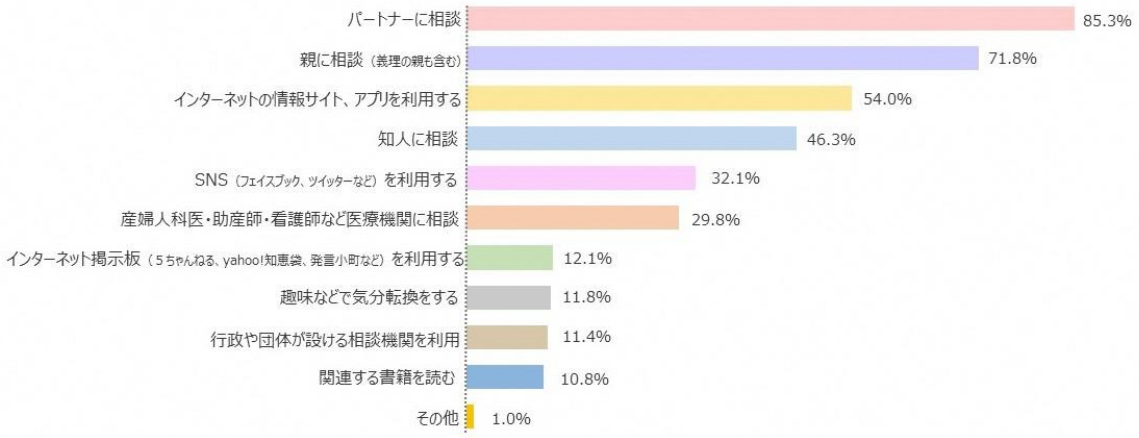


資料２：「ミキハウスベビークラブ」会員 7600 名　インターネット調査　2020.12.18～2021.1.18

コロナ禍の子育てで心配なことのトップは、**「家族以外の人（お友だちを含む）とのコミュニケーション」（61.0%）**です。「新生児や乳児期の除菌」（51.7%）が続き、「子どもの健康状態」（48.2%）、「病院に行きにくい」（45.3%）といった健康に関する悩みも多くなっています。



コロナ禍の中、妊娠や子育てに関して悩んだときや不安の解決法を教えてください



（ベース：全体／n=7,600）

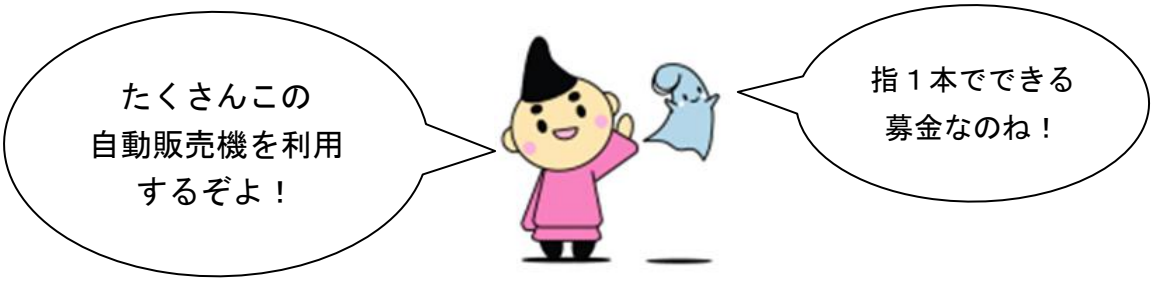
市民活動げんき基金自動販売機　設置協力企業

対象の自動販売機にて飲み物を買うと、売り上げの一部が市民活動げんき基金へ寄附となります。

湘南ヤクルト販売株式会社

設置場所：茅ヶ崎市体育館（茅ヶ崎市十間坂三丁目 6 番 5 号）

ダイドードリンコ株式会社

設置場所：小和田公民館（茅ヶ崎市美住町 6 番 20 号）

対象となる自動販売機は、こちらのえぼし麻呂のデザインが目印です！